浮かれ出した春

古柳行李を一つ フラッと出た人妻

ノントウさんの忘れもの

愛人に振られた女

新京城内西五馬路宮本一次氏妻ミキエさん(二〇)は連日續く陽氣のせいか廿六日午前七時ころ水色模様の羽織を着て古柳行李一つブラさげフラ〳〵と家出したまゝ歸らないので夫一次氏は二十七日捜査願を出した

○―○

これは又ノントウさんのオンパレード―陽氣の加減とはいつたもの〻二十七日午前八時五十分新京着列車で到着した市内錦町一丁目一號地須藤正彦の満酒「笹ノ井」二本を始めステッキ、洋傘等忘れものが同一列車に五、六件とはどうかと思ふ

○―○

季節はずれの陽氣の加減か最近花柳界に自殺事件が多くなつて來た―市内三笠町三丁目九番地朝鮮料亭松月抱へ酌婦桃子こと李姓名は二十六日午後十一時過ぎ外出、しこたま醉つぱらつて歸宅就寝二十七日午前四時半頃異様なうめき聲が同人の室から聞えるので朋輩が行つて見ると苦悶してゐるので大騷ぎとなり直ちに應急手當を加へ滿鐵醫院に擔ぎ込んだ、原因は最近好いた男が來なくなつたので悲觀して毒藥を嚥下したらしいが生命危篤であると

元バーミドリの主人留置場入り

市内蓬萊町一丁目十二番地境某方同居人本籍東京市生れ岡田晋吉(當三十一年)は同居松本某の就寝中同人のラクダオーヴァー(時價百七十圓)及び防寒帽、オーヴァーポケットに這入つてゐた現金七圓在中の蟇口を窃取し吉野町一ノ二三安喰質店に該オーヴァーを卅五圓にて入質し二十五日夜キャピタルダンスホールにて舞踏中を新京署日高刑事に取押へられ本署に連行取調べの結果犯行の一切を自白した、岡田は以前市内料亭開花前にて酒場ミドリを經營してゐたが愛妻と離別店をたゝみ爾來ダンスホール、麻雀俱樂部に出入し名うての不良青年で頭髮薄く美髭を蓄へ一見四十歲位に見え紳士風を裝ふては惡事を働き遊蕩三昧に耽つてゐたもので本署では目下餘罪嚴重取調べ中

婦人の漫性淋疾は 注射一本で癒る

今出博士らの新研究發表

南滿醫學會例會で

南滿醫學會新京支部第百五回例會は二十六日午後二時から新京衛戍病院で開催されたが參會者約六十名、一同同病內の施設を參觀して講演に移つたが滿鐵醫院から吉村、今出兩博士以下衛戍病院小官山院長、栗田軍醫正らそれ〴〵研究發表あり、中でも滿鐵醫院婦人科今出、星、高兆三氏の「漫性の淋毒疾患に對する熱療法」についての研究は大量のゴノワクチンの靜脈內注射によつて婦人の漫性淋毒が癒るといふにあつて、未だ理論的にははつきり證明されてゐないが各種の實例を示して臨床上誠に興味あるものであつたまた衛戍病院小宮山、栗田兩氏は「酷寒時職線救護研究」と題して軍事醫學の立場から日頃の蘊蓄を傾け極めて有益なものであり、同五時すぎ散會したが、出席者一同熱心に極めて有意義な會合であつた

市公署が建國記念日に 傷病兵慰問

新京特別市公署では三月一日の建國記念祭當日午後一時滿洲國陸軍衛戍病院を訪問、國內治安確保に日夜活動中名譽の負傷或に病魔に冒されて入院中の國軍兵士の慰問を行ふ豫定であるが、管下西三道街陸軍病院入院兵は四十六名で慰問代表者は特別市立女子小學校の可憐な女生徒五名で慰問品としてタオル五十、盆栽二鉢を贈る事となつてゐる

滿洲上海 兩事變關係

一月末現在戰死傷者數

【東京國通】陸軍省調査昭和十年一月末日現在迄の滿洲上海事變關係戰死傷者數左の通り

滿洲事變關係	戰死者	二、三三一
同	負傷者	五、七四六
上海事變關係	戰死者	六四三
同	負傷者	一、七八二
合計		一〇、五〇二

中學の入學者 二人に一人の割

地委聯合會で陳情

今春四月新入學する全滿各地中學校の定員並に志願者の調査によると左の如くで各校を通じて定員七百六十名に對し志願千四百四十二名を算しこのまゝでは約半數が篩ひ落される勘定である、全滿地方委員會でこれを教育上由々しい一大事として近く滿鐵總裁にその實情を陳情して救濟若しくは緩和方を要請すべくこのほど新京地方委員會へも照會したので直ちに贊意の回答を發することゝなつた

	定員	志願者	合計
奉天	三〇〇	(第一 四九九 第二 三三)	五三二
鞍山	九〇	(第一 一五四 第二 五四)	二〇八
撫順	一〇〇	(第一 二〇〇 第二 八)	二〇八
安東	一〇〇	(第一 一九一 第二 一三)	二〇四
新京	一〇〇	(第一 二九三 第二 一七)	三一〇

滿洲國官吏消費組合 城内に魚菜部新設

呉服、洋品雜貨部も

三月一日から本格的活動

滿洲國官吏消費組合はいよ〳〵三月一日を期して本格的營業開始を實施することゝなつたが同時に呉服部、洋品雜貨部を新設して組合員の需めに應ずることゝなつた、また城內配給所には魚菜部を開設する等販賣品目の增加に伴つて逐日業績をあげてゐるが、職員をはじめ全從事員は連日夜半十二時ごろまで開業準備に忙殺されてゐる、新設の呉服部と洋品雜貨部は興安大路の支部の二階を區分して陳列することゝなり呉服部は既に半ば陳列を終つてゐるけれども店內狹隘のため在庫品全般の陳列をなすことが出來ず混雜を呈してゐる

街の日記

滿洲炭坑理事長 河本氏披露宴

滿鐵理事河本大作氏は昨年九月滿洲炭坑株式會社理事長に推擧されたので其筋に認可申請中の處この程正式認可となつたので二十七日午後六時から新京ヤマトホテルに日滿各界の代表百數十名を招待披露宴を張つたが、河本理事長の挨拶、張實業部大臣が來賓を代表して謝辭を述べ盛宴であつた

山内總裁來京で 電報局社屋敷地決定か

電々會社總裁山内靜夫氏は二十七日午前十一時關東局を訪問し、つゞいて本社建築工事場を視察したが、目下計畫中の電報局の新社屋建設敷地の選定も同氏の來京を期に決定するものとみられてゐる

新電話簿 三月上旬配給

二月一日現在調査にかゝる新電話簿はいよ〳〵近く印刷を終る運びに至つたので三月上旬内には、加入者全般に配給されるはずである

マルセーユの 觀櫻サービス

三笠町カフエー街サロンマルセーユは昨秋御馴染のお鶴さん繼承以來堅實な營業方針に明るいサービス振りとて好評を博しホールの改裝完成し爛漫と咲き誇る櫻サービス開催中で之亦人氣を博し殷盛を極めてゐる

けふの銀相場

金票對國幣	一一四・〇〇
金票對鈔票	一三四・八〇
鈔票對國幣	八四・五五
現大洋對鈔票	一〇三・一〇

兩事務官 滿鐵關係視察

滿京中の對滿事務局事務官河村參郎、同渡邊武兩氏は廿七日關東軍、交通部その他の訪問を終り、二十八日は午前九時三十分から地方事務所で地方事務の說明を聽取引續き室町小學校、消防隊、普通學校職業紹介所、中學校、滿鐵病院などを視察、午後一時三十分から鐵道事務所、炭鑛會社滿洲電業公司でそれ〴〵說明を聽取することになつてゐる

仙人掌

先頃御紹介したダイヤ街松村席の勝彌、その巧みなる話術書き殘したのをこのまゝ捨てゝしまうのは惜しい、昔て曙に來たばかりにチト尾籠なお話だが彼女水洗便所に初お目通りの卷を御披露した、▲先づ列車中の便所で惱まされたくだり、便器の上に立つたりすはつたり、車体の動搖に念佛を唱へて便器の前椽を兩手でつかみ、背を丸く恰も猫の怒つた時の姿―▲其後どうだねときゝますと、あきまへんけつたいな格恰したのぶら下つておまつしやろ、あれ切れたらどないなるやろと心配で〳〵と▲ところが今月ダイヤ街へ二度のおつとめ?また櫻みの種が桃園の便所、こゝのはハンドルを握つて下げるやつ、▲彼女ハンドルをつかんで押したり、引いたりしてみたが動かない其まゝ飛び出し爾來桃園の幾つかの便所は彼女に忌避され使用の光榮に浴さないのがあるさうだ

天氣南西の風晴一時曇
日出 午前六時十九分
日入 午後五時〇五分
月出 午後二時四十七分
月入 午前十一時十六分
氣溫最高 十三度
最低零下 二度三

祝賀會場で 記念スタンプ押捺

頭道溝郵局の特別サービス

新京頭道溝郵局では來る三月一日の建國紀念日に大同廣場の祝賀會場內に臨時出張所を設け郵便切手及葉書の賣捌、普通郵便の引受及紀念スタンプを押捺する由である、尙今同局に於て三月一日より三日迄の間差出したる料金完納の書狀及葉書(新京市內發着のものを除く)に引受消印として紀念スタンプを使用し又一日より六日迄の間に特に希望を以て窓口に差出した一錢五厘以上の切手を貼付したる物件及料金完納の葉書に對し記念スタンプを押捺す

オリムピツク開催地問題

委員會の開催と 決戰投票豫想

問題は向背不明の十三票

【オスロー廿六日發國通】第十二回國際オリムピツク開催地問題は日本、イタリー、フインランドの三つ巴戰となり形勢混沌、容易に豫斷を許さず決定延期說迄出て居る有樣であるが日本としては此際決戰投票を行つて一氣に決定せしむる方が有利だと解されてゐる、而して愈々決戰投票となつた際之が如何なる結果となるかは之亦複雜な事態から推して速斷を許さないが、各方面の情報を綜合するに日本が確實に獲得し得る票數は二十二票と觀られ其他向背不明のもの約十三票を算するから之が日本側に味方すれば日本の壓倒的勝利に歸するものと解される、尙現在確實に日本に投票するものと觀られてゐる國は左の如くである

ドイツ、米國、ブラジル、メキシコ、カナダ、チエツコ、ボルトガル、濠洲、スエーデン、印度、アルゼンチン、チリー、ペルー、キユーバ、中米、ギリシヤ、ハンガリー、ウルグワイ、支那、ベルギー

一方向背不明と觀られる國は左の如くで之以外はイタリー乃至フインランドに投票するものと觀られる

杉村大使 委員會で力說

【オスロー廿六日發國通】午前十時よりのオリムピツク委員會で杉村大使は次の如く力說した

一九四〇年は日本の皇紀二千六百年に當り此意義ある年東京に第十二回オリムピツク大會を招待し度い、これまで二回アメリカで、八回歐洲で開かれたが、東洋では一度も開かれて居らぬ

尙ほ開催地決定は委員會最終日の三月一日となる模樣である

長春回顧

附屬地買收の秘話

滿洲製油 出島定一氏談

新京文化の發祥地たる附屬地の買收に携り爾來卅年間日滿產業の發達に貢獻せる現滿洲製油株式會社專務取締役出島定一氏(島根縣)について附屬地買收の隱れたる插話を聞く

日露講話條約により南滿洲の鐵道は我有となり野戰鐵道提理部運輸事務所といふのが鐵嶺にあつて陸軍の直轄であつたが明治三十九年六月に滿鐵會社設立の勅令が出て四十一年四月一日に一切を滿鐵に引繼いだやうに記憶してゐる

當時鐵道はロシアの廣軌を狹軌に直して

孟家屯まで

開通したのは明治三十九年九月十日頃だつたと思ふ、私が孟家屯に着いたのは開通後四日目位でその頃の孟家屯は支那人の家屋が四、五軒あつたのみで荒涼たる曠野の眞中に汽車が停つてプラットフオームの如きものは無論なく乘客は高い汽車のデッキから飛び降りたものだ、畑の畦の所に穴を掘つてアンペラ圍ひの陸軍の鐵道提理部監視所が一軒あつて若干の憲兵が殘つてゐた位であつた、鐵道が開通して一週間と經ぬ中に日本人かどし〳〵入り込んで來て驛附近に穴を掘つてはアンペラ圍ひの小屋を造る、またゝく間に三四十軒のアンペラ小屋が出來たがみんな鐵道の運送屋さんでアンペラ小屋の上に何々公司の旗が風にヒラ〳〵ひるがへつてるたのも滑稽だつた、日本人の殖へるにつれて料理屋が出來て醜酌婦が入り込んで來る。アンペラ小屋の中で三味線が聞へるといふ鹽梅で其の年の十月三日の

天長節には

相當の日本人がゐた、其頃運送屋はボロい儲をしたものだ、何分戰爭で附近の大豆とか豆粕が滯貨してゐたやつが汽車が開通したといふので一時に孟家屯に押し出して來たので貨車繰りが間にあはず貨車一台に百圓、百五十圓の金をかけて奪ひあつたものだ、そんな工合で孟家屯の發展は實に驚異的のレコードであつた、私はとにかく三十九年の九月十三日に孟家屯から歩いて城內の三井物產の取引先である東三道街の長升店といふ支那人の綿糸布問屋に落ちついた、其當の城內には日本人も極く少く明治四十年の二月頃に日本の領事館が西三道街にあつて領事館補柴田要次郎氏が居た、やがて正金銀行が西門內双橋の外のロシア人旅館の汚い土煉瓦の家に店を出し初代の支配人として工藤金三郎氏と行員がやつて來た、その頃露西亞の勢力はまだ大したもので双橋の外にはロシア騎兵が駐屯してゐてロシアの旅館などもあり今の監察院は當時の露西亞銀行で正金銀行の汚い家屋に對して威張つてゐたものだ、正金の通貨は金票と鈔票の二種で鈔票は

軍用紙票を

引あげるために造つた銀票であつた三井物產はまだ店を持たず鐵嶺からやつて來て大豆、豆粕の買付、綿糸布の賣込みをやつてゐた(續く)

新撰爆笑隊

（禁上映上演）　辰野九紫作　永田八浦關英太朗畫

時代篇　二　大磯の虎（四）

旅の初日からして道草の喰ひ放題で、彼等は程ケ谷泊りの第一夜を神妙に明かして、早立ちの二日目は申刻さがりに大磯まで辿り着いたが、浴道これぞといふ曲もない。

「鶴ンちやん――今日はこの邊でお神輿を据ゑるか」

「流石に鈍は爭へねえの。おいらはどうでも小田原まで延す積りだ」

「これからの四里八丁――暮合を往く體でもねえが、暗くなつてからの宿さがしなんぞ、およそ氣の利かねえ話上だ」

「ナニ、心配しなさんな。――彼方は夜でも大丈夫だらうな」

「どうだか……」

「それでもお前――小田原は提灯の本場だ」

「畜生！　つまらねえことを吐かしやがる」

「さアく、さういふうちにも日が暮る。早く兩足を互え違えに働かせろ」

「うんにや、俺は此地に何か面白えことがありさうな氣がしてならねえんだ」

「ははア、お前のカンのいゝのには驚くし以來、俺も兜を脱いでるが、もうこれ以上、金は賭けたくねえ」

「ははは、慾の深い野郎だナ。もう澤山、もう澤山といふ奴に限つて、もつと飲みてえ口よ」

「それとも、お色氣の方たら半口どころか、十口でも二十口でも乘るぞ」

「さア……そこまでは諸合へねえか、此來を歩いてる人達の眼の色を白ろ――どうも凡事ではなさそうだ」

「成程、さういはれると、宿場一階にざわついてやがる。――そこらでちよツくら訊いてくんべえか」

氣輕な鶴吉が海倉筋の荒物屋に群つて、腰掛の小玉を買つた序に

「婆あさん――何ぞ騒つたことでもあつたのかい」

と店番に口火をつけたら、これがまたうまく燃えついて、一通りならぬ喋りである。

「あつたなんの、お前さん――大磯小磯一體に、引つくり返るやうな騒ぎだわナ」

「ほほう、この土地の親分のところへ、小田原の太郎長一家が殴り込んで來たか」

「そんな勇ましいことかいナ」

「それぢや虎御前がドロンでもしたか」

「馬鹿らしい。――一昨々日、小磯の山の中で熊平小町みたいにそれはく綺麗な若い二人の心中がありましたぞナ」

「罰當り奴！　うまくやつてやがる」

「好きなさんなや。――なんまみだぶ、なんまみだぶ……」

男二十七、女は二十歳――そんな年の夫婦ものらしくない一組は、眼鏡容貌の上から見ても人品卑しからず、相當な家に育つた者とも見えたらうが、親の許さぬ仲なのか、手に手を取つて隱棲の、運の盡の時節柄へ、極まる氣の無分別に、かねて用意の和陀陀秘藥、抱き合つたまゝぐつと呑んで、眠るが如く美しい死に方をしたのであるとか。

「それで未だに、どこのものともわからねえのか」

「前の晩、平塚泊りの宿帳には江戸の何やらと書いたさうなが、大方出鱈目ぢやらうと役人衆もいうて[illegible]つた」

「それでも江戸つ子と聞いちや捨てゝも置けねえ。線香の一本も上げてやるか」

ラヂオ

新京　廿八日（木曜）

午前之部

六、三〇　ラヂオ體操（滿語）
六、五〇　ラヂオ體操（東京）
七、一〇　中等滿語講座（大連）　講師　秩父固太郎
七、四〇　日語講座（奉天）　講師　近藤喜助
八、三〇　經濟市況（東京）
九、四〇　經濟市況（大連）
一〇、〇〇　料理獻立（奉天）
一〇、二〇　經濟市況（大連）
一〇、四〇　經濟市況（東京）
一〇、五九　時報（東京）
一一、〇一　經濟市況（東京及大連）
一一、四〇　ニュース（東京）

午後之部

〇、〇一　經濟市況（大連引續新京）
〇、三〇　ニュース
〇、四〇　ニュース（滿語）
〇、五〇　演藝（レコード）（滿語）
二、〇〇　經濟市況（大連）
二、二〇　成人講座（滿語）　奉天省立第一女子初級中學校　岳德勳　關於孔子（終講）（奉天より）
二、四〇　日用品値段（滿語）
二、五二　經濟市況（東京）
三、〇〇　ニュース（東京）
三、三〇　經濟市況（大連引續新京）
三、五〇　ニュース
四、三〇　ニュース（鮮語）
四、四〇　演藝（鮮語）
四、五〇　ニュース（英語）
五、〇〇　子供の時間　新京日滿藝術協會音樂部　指揮　糸井光彌　唄　秋月喜美子
童謠とジャズ
一、童謠　イ、青い目の人形　ロ、すゞめ　ハ、赤い靴　ニ、花嫁人形　ホ、お手々つないで　ヘ、夕やけこやけ
二、ジャズ　童謠組曲
五、二五　氣象通報、番組豫告
六、〇〇　ニュース（東京）
六、二〇　政府公報（滿語）
六、三〇　國民の時間（滿語）　文教部禮教司禮俗股長　陳會　「通禮」解說講座（終講）
七、〇〇　地唄（名古屋）　彈語り　小林ゆき
七、三〇　鳥邊山（繁太夫もの）　鈴木龍子
管絃樂（東京）　日本放送交響樂團　指揮　篠原正雄　獨唱　渡邊しいり　ピアノ　田代愛子
（フイランドの音樂）
一、フイランド頌歌
二、獨唱　親しき友の歌外六曲
七、五〇　浪花節（東京）　天保水滸傳（平手造酒の最後）　玉川勝太郎
八、三〇　時報ニュース（東京）　引續きニュース
八、四五　ニュース、經濟市況　氣象通報、番組豫告（滿語）
九、〇〇　滿洲音樂
一、朝天子（管樂）
二、慶神歡（管樂）
三、雙鳳朝陽（絃樂）
四、漁翁樂（絃樂）
滿洲國國樂社　管子　張雨田　笛子　王景新　于學海　笙　周　胡琴　劉方　四絃　李鳳閣　提琴　王洪海　小鐘　董禮　吳繼周　鼓板　小鑼　李振文
一〇、〇〇　北滿の時間（露語）（哈爾濱）　ポリソフ　クラスノフの著作物
一、講演　二、レコード　三、詩の朗讀　四、ニュース

新進青年手合【其三】

刈谷敏雄（二段）
先番　瀬川良雄（二段）

一二三四五六七八九十十一十二十三十四十五十六十七十八十九
いろはにほへとちりぬるをわかよたれそつ

●二一　れノ六
○二二　かノ三
●二三　たノ六
○二四　かノ四
●二五　そノ七
○二六　れノ十五
●二七　れノ十六
○二八　そノ十六

六段　久保松勝喜代講評

黒二一と截つたのは、征が良いからである。

大體征が惡い時ならば、黒十一以下を打つてはいけぬ事に注意され度い。

白二二は二五に行びて、次の黒(い)、白二三、黒(ろ)、白(は)に一子取り、黒(に)、白(ほ)、黒二四、白二一と絞られても、次に黒(へ)の時、黒七がそんなに働くないから、白として差支へなかつたのである。

黒二三を(ほ)は、白(に)、黒二四、白(と)、黒(ち)ならば、白二五で白を絞れぬ事になる。

白二四は當然の箇所。

黒二五と拘へて、左邊に黒の模樣が出來て來た。

白二六を二七に觸ると、黒(り)と掛けるのであらう。

黒二七を普通の如く(ぬ)ならば白(ろ)と拆いて黒の模樣を消す。

白二八を通形(ぬ)に挾むと、黒(を)、白二八、黒(わ)、白(か)、黒(よ)、白(た)、黒(れ)で黒の模樣が矢張り大きいし、次に黒から(そ)の先手も殘る。

九星

木曜　乙亥　先勝　收　井宿　二月二十八日　舊一月二十五日

●一白の人　心は頻りに焦れども物事思ふ樣に運ばぬ日　甲と丙と丁が吉
●二黒の人　何事も面白く順よく運び行く日常業尤も吉　乙と未と癸が吉
●三碧の人　何事も物足らぬ思ひに暮るゝ日焦るは大凶　甲と丙と丁が吉
●四綠の人　位置も高まり求めぬ財寶も集り來る大吉日　丙と丁と乾が吉
●五黄の人　意圖を改め新規の方面に進出するが吉なり　甲と辛と壬が吉
●六白の人　位置高くして心の落付かざる日飲食も注意　辰と壬と癸が吉
●七赤の人　川に臨み舟檣なき如く進路の塞り勝ちの日　巽と辛と壬が吉
●八白の人　勇氣を振作して勵むときは大抵の事は成る　卯と乙と辛が吉
●九紫の人　一時不安はあれども遠からず順調に赴く　辛と壬と丑が吉

新京日日新聞
朝刊
夕朝刊共十二頁
發行所 新京日日新聞社
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

三千萬民衆の福音 刑事訴訟費用法令

近く參議府の諮詢を經て 四月一日から實施

三千萬民衆にとつて快い福音がこの四月一日からもたらされる、刑事訴訟費用法の實施がそれだ―從來滿洲國法院又は檢察廳に證人として呼ばれても日當はおろか一錢の旅費さへ貰へなかつたものが近く公布される刑事訴訟法費用法によれば司法當局は法廷證人に對して日當一圓、旅費（三等運賃）宿泊料並に車馬代一キロにつき半錢（半分）を支給することとなつた、刑事訴訟費用法は參議府の諮詢を經て近く公布され四月一日から實施される筈であるが、本法の制定は從來費用その他の點からとかく喜ばれなかつた證人出頭の傾向を是正し進んで證人として司法當局の求めに應諾せしむるやうになるものと期待されてゐる

司法領事會議

多大の成果を收めて終る

全滿司法領事會議は廿七日午後二時より引續き開會、今會議々題二十四全部討議檢討を終り多大の成果を收めて午後四時第二回全滿會議は閉會となつた

主要討議事項

廿六、七の兩日に亘つて新京大使館に開催された第二回全滿司法領事會議は滿洲國に於る治外法權撤廢準備が具體化する時期に入つてから最初のものであり今會議の內容成果は在滿洲國民の間に多大の關心が持たれて居る

今會議は第一日二十六日の午前には商租權以外の諸問題の討議を終り同日午後に入つて主要議題商租權諸問題の檢討に入り、二十七日の第二日まで續けられたものであるが、主として商租權の登記手續上の不備困難な諸問題が實情に即して論議結論が齎らされた

二十七日には滿洲國側よりも出席、日滿司法上の協助の問題が隔意なく論議されたのは時節柄注目される、二十四に上つた議題の中で昨秋の第一回會議に比べて眼を惹くものは少年法の問題並に不良日本人取締の問題であつたが、前者は同法を圓滑適切に能ふかぎり適用すべく決定を見後者は南大將着任に際しての第一聲の中に見られる重要問題であり、日滿融和を妨げ且つ日本人の發展をも自ら阻害する不良日本人に對しては峻嚴なる態度を以て徹底的に取締ることに決定を見たが此中には日系官吏にしてその職務地位を利用しての不法抑止も含まれてゐる

南大使訓示

南軍司令官大使は司法領事會議に出席の六領事に對し廿七日午前十一時過ぎ軍司令室に於て訓示をなしたが大要左の如くである

諸官は多年滿洲に在つて其特殊複雜な諸事情の下に我國法擁護の重任に當つて來たものであるが、殊に滿洲國建國以來在留同胞の人口急激に增加し、ために諸官の事務益々繁忙となり、日夜苦心して居られる事は本使の深く同情し且多として居る次第である、諸君の承知し居られる如く滿洲國に於る治外法權撤廢問題は今や漸次具體化するに至り、從つて滿洲國の法律制度並に司法制度の改革の必要切なるものがあるのである、此際に於て諸官が多年滿洲にありて實地に經驗された所は誠に貴重な教訓であると信ずるが故に今後諸官が滿洲國司法當局とも充分協力せられて滿洲國の法律制度並に司法制度の健全なる發達に貢獻せられん事を期待する次第である、尚治外法權撤廢の根本方針に關しては東京出發に際し首相始め各相並に關係方面と協議して來たが、その時期に關しては愼重の考慮が必要である、殊に二十日のロンドンタイムス紙にもある通り滿洲國に於る撤廢は支那にも同樣の要求を起させるもので、世界的影響を呼ぶ重大事業に携はる司法領事諸君に重ねて自重を望む次第である

"天皇機關說"で 菊地男更に起つ

政府に對し糺彈的に質問か

【東京廿七日發國通】菊地武夫男は美濃部博士の天皇機關說に關し近く貴族院本會議で岡田首相、松田文相に何故に斯る學說の主張者を國家試驗委員として置くか其著書を學生の教科書として置いて差支無きやを質問するが、之に關し菊池男は語る

博士の辯明は其著書と大いに異つてゐる、天皇機關說に關しては尚些かも反省して居らず、怪しからんと思ふ

旅順要塞總攻擊と 二〇三高地激戰

四戸鄕軍聯合分會長追懷談

旅順要塞ハ敵ハ天險ニ加工シテ金湯トナシタル所ナリソノ攻略ノ容易ナラサルモトヨリ怪シムニ足ラス朕深ク爾等ノ勞苦ヲ察シ日夜軫念ニ堪ヘス然レトモ今ヤ陸海軍ノ狀況ハ旅順攻略ノ機ヲ緩フスルヲ得サルモノアリコノ時ニ當リ第三軍總攻擊ノ擧アルヲ聞キソノ時機ヲ得タルヲ喜ヒ成功ヲ望ムノ情切ナリ爾等將卒ソレ自愛努力セヨ

明治三十七年十一月二十二日、旅順要塞第三回總攻擊を前にして明治大帝は**日夜**御軫念遊ばされこの勅語を降させられたのである居並ぶ將卒寂として聲なく、聖旨胸底に徹して士氣勇往―何んといつていゝか形容の辭もないその時の悲壯な情景が斯うしてお話してゐると眼底に髣髴と甦つて來ますと……昔日の荒武者も今は圓滿な老翁、四戸友太郎氏は諄々と語りつゞける―男子一度戰場に臨むからには死はもとより覺悟です、然しこの詔勅を降された刹那將卒の胸裡には逝きし戰友の復仇を一入深く誓つて一死以て君國に酬ゐるの決意を固めたものでした、或ひは**頭髮**を斬るものあり或ひは家鄕の妻子、先輩に訣別の音信を送るものあり斯くして二十五日午後から海陸軍砲隊の砲擊に續いて同時に步兵の進擊が開始されたのでした

白たすき隊

何が故に多數の犧牲を敢て知りながらこの旅順の要塞に寸刻を競つて焦慮攻擊を急がなければならなかつたのか？第一回、第二回の總攻擊ともに全滅に等しい敗退の悲慘を嘗め、今また第三回總攻擊の決戰 海にはバルチック艦隊の東航あり陸には益々兵員を增援して城塞の護りはいよいよ堅い、戰は我が軍の不利徒らに續くばかりである、この秋例の有名な白襷隊は組織されたのである

◇

今や陸には敵軍の大增加あり海にはバルチック艦隊の**廻航**遠きにあらず、國家の安危は我が包圍軍の成否に決せられんとす、この秋に當り特別豫備隊（白襷隊のこと）壯擧を敢行す、余は將に死地に就かんとする當隊に對し囑望の切實なるものあるを禁ぜず 諸士が一死君國に殉ずべきは實に今日にあり希くは努力せよ

十一月二十六日拂曉、鬱眼の北方に集合し今將に決死の壯途に就かんとする時第三軍司令官乃木希典大將は白襷隊にこの激勵と感謝の辭を贈り決死隊各員は國家の安危を双肩に擔つて城壘下の鐵條網を破壞して砲台下に迫らんとした

乃木少尉の戰死

然しこの白襷隊も遂に失敗に終りました、城壘に達したら烽火を擧げることになつてゐましたが幾ら待つても〱烽火は擧がりません、斯くして第三回の總攻擊もとう〱目的を達することが出來ず多大の損害を拂ひ空しく後圖を策することゝなり轉じて二〇三高地占領の**方策**に出ることになつたのです、乃木少尉が戰死されたのもこの第三回總攻擊の際です、この頃乃木少尉は前線部隊と吾々豫備軍との間を頻に往復して傳令をつとめて居られましたが驟雨の如き敵彈の爲遂に悍みを呑んで斃れられたのです

◇

旭川第七師團第二十八聯隊の少壯小隊長として今まで總豫備軍の第二線に腕を扼してゐた四戸中尉は廿八日いよ〱最前線部隊として二〇三高地攻擊に向ひ屍を踏んで進擊の最中足部に砲彈の破片を受けて重傷を負ひ前後十時間人事不省の狀態に陷つてゐたが士卒の手によつて野戰病院に後送され、重傷のため十二月半ごろ內地に送還、その後三年間東京築地の衞戍病院に療養をつゞけた

第三回の總攻擊で戰死者一萬八千餘名中六千名餘りはこの二〇三高地の激戰に斃れたものです、不幸にして倒れあの山頂に日章旗の揚がるのを見ることが出來なかつたのは誠に無念で堪りません、野戰病院も滿員で廣島に送られましたがこゝも滿員で救療することが出來ずそのまゝ又東京まで送られましたがその間

一度

も治療を受けず半身麻痺したまゝ二〇三高地の泥を東京まで運んで行きましたよ、その後病院で三年許り暮しましたが實に人体の凡ゆる個所の負傷を見まして悲痛な感に打たれました、中でも兩眼を失つたのが一番悲慘でしたね、失明して氣を狂はした將校もゐましたがね、私はいつもそう思つてゐるのですが戰死者の遺靈を祀るのは勿論ですがその遺族や戰傷者の生活の保護を或る程度まで國家でみるやうにして貰ひたいものですね、中にはその負傷を看板にいかゞはしいことをするものもないではありませんがそれも何が彼をさうさせたかといふことをよく考へてみる必要があると思ひますね◇

勳五等功四級四戸友太郎氏は陸軍士官學校第十期生、明治三十七年十一月二十日總豫備軍として第三軍に加はることゝなり出征軍の殿りを承つて奮進、陣中において大尉に昇進した人である

善政への基礎工作 鄕村社會經濟調査

統計處を中心として着手

既報の如く國務院統計處では村落の社會構成、經濟事情を調査して普通的統計調査に對する參考資料を得るため、民政、財政、實業、文教、蒙政各部、土地局、滿鐵經濟調査會及協和等と協力の下に鄕村社會調査の實施を計畫準備中であつたが愈々二十八日より三月十四日に至る十五日間及三月二十四日より四月七日に亘る農閑期を利用し、龍江省龍江縣大道三家子、吉林省伊通縣（部落未定）、奉天省西豐縣公合屯、奉天省海城縣騰河山、熱河省凌源縣十五里堡及興安南省科爾沁左翼中旗二貝府子屯の六村落を擬定し一班十數名より成る調査班を派遣することになつた、調査主要項目は地方住民の政治生活、土地の習慣、農業勞働、財政、金融、教育、宗教及其他社會生活、農業及其他村民の生業その他一般基本事項に亘るもので、逐次滿洲國の細胞たる零細農民實相は數字的に摘出され、ここに正鵠なる農村の實情は統計的に中央機關に訴へられる譯で實業部產業調査局の北滿に於ける農村調査と相俟つてこの企圖は善政への基礎工作として各方面より期待されてゐる

治外法權撤廢對策委員會 初會議 國務院で開催

構成及び分擔事項を決定 事務の圓滑を期す

昨年七月總務司長會議の結果創立された滿洲國政府治外法權撤廢對策委員會の第一回委員會は二十七日午後二時から國務院會議室において開催、委員の構成および各分擔事項を左の通り決定した

▲委員長遠藤總務廳長

△第一分科會 法制局長、同參事官、民政部總務司長、同警務司長、外交部政務司長、財政部總務司長、實業部總務司長、交通部總務司長、司法部總務司長、同民事司長、同刑事司長、文教部總務司長、主計處長、及幹事

△第二分科會 民政部總務司長、同警務司長、外交部政務司長、司法部刑事司長、法制局參事官、主計處長、および幹事

△第三分科會 民政部總務司長、外交部政務司長、財政部總務司長、同稅務司長、法制局參事官、および幹事

なほ各秘書處長および情報處長は各分科會の委員を兼ね、各委員に一名の幹事を屬せしめ幹事長は法制局主席參事官、松木俠氏、幹事は各關係部の高等官中から選任する、各分科會の分擔事項は

△第一分科會 諸法令の整備、裁判所および監獄の改善、附屬地行政權處理に關する問題

△第二分科會 警察諸令の整備並に警察機關の整備充實に關する問題

△第三分科會 國稅、地方稅等稅制[illegible]に關する問題

等を討議研究し、各分科會は每週開くこととなつてゐる、各分科會の決議事項は隨時幹事長に回附して委員會總會の手續をとり、總會の議決事項は直ちに各所管部に移し實施せしめるものである

濃霧に禍され 土肥原少將 南下遲延

【上海國通】土肥原少將の乘船照國丸は濃霧の爲、出帆遲れ廿八日午前二時廣東に向ふ事となつた

小林理事 歸任

二十五、六の兩日奉天において開催された日滿實業協會滿洲支部第三回大會に出席した小林商工會議所理事は二十七日朝歸京した

武昌行營重要職員決定

三月一日開營

【漢口國通】武昌行營は來る三月一日より開營に決定、行營所屬員は取敢へず漢口にあつて執務を開始すると共に行營の重要職員を左の如く決定發表した

行營主任 張學良
秘書長 楊永泰
參謀長 錢大鈞

尚行營には七處を設け第一處より第三處までは參謀長に隸屬し、第四處より第七處までは秘書長の隸下となつてゐる

パナマ大阪 領事着任

【大阪國通】中南米諸國との貿易調整が問題となつてゐる折柄、パナマ共和國では今回大阪領事館を新設する事となり、初代領事に任ぜられたアーネスト・ベーリング氏は廿六日午後四時半神戶入港のウイルソン號で來任したが氏は本年二十六歲、昨年ロスアンゼルスのロヨラ大學を卒業したばかりの少壯外交官で在學中は陸上競技選手として活躍したスポーツマンである

滿鐵辭令

新京驛々務方 事務員 松村四郎
貨物方ヲ命ス
新京驛貨物方 事務員 西山滿雄
庶務方ヲ命ス
新京地方事務所 事務員 井上五郎
遼陽地方事務所勤務ヲ命ス

人事往來

▲松崎義造氏（鐵嶺商議理事）廿七日鐵嶺より中央ホテル投宿
▲錢昌氏（錦州實業廳長）同上
▲日下清擬氏（營口商議理事）營口より同上
▲齋藤茂彌氏（貸家業）大連より同上
▲倉橋健二氏（志岐組新京主任）ハルビンより同上
▲太田知康氏（營口領事）二十七日午後來京ヤマトホテル投宿
▲金純善氏（滿洲國侍從武官）同歸京
▲鈴木洪務部長（チ、ハル〇〇師團）午後五時チ、ハルより中央ホテルへ
▲保康氏（奉天省々長）二十六日午後來京二十七日午前發奉天へ
▲寺田良之助氏（大連警察署長）二十六日午後來京
▲越智大佐（鎭海要港部參謀長）同
▲鈴木法務官（蒲部隊法務部長）二十七日午前來京
▲河本大作氏（滿鐵理事）二十七日午前發大連へ
▲仲中佐（第一軍管區）同奉天へ
▲渡邊益次氏（奉天稅務監督署總務課長）二十六日午後來京二十七日午前發奉天へ
▲中村富士太郎氏（奉天電業局次長）二十七日午前來京國都ホテルへ
▲細野繁勝氏（滿日編輯局長）同
▲高山勝司氏（新京警察署長）二十七日午後大連より歸京
▲岩永唯一氏（新京鐵路局運轉課長）同日大連より着任
▲柳井啓次郎氏（大連海上火災保險會社々長）同日來京國都ホテルへ

偶語

今春の中學入學者沿線を通じて千四百四十二名、定員が七百六十名だからざつと二倍近くに當る勘定で殊に鞍山、撫順に甚だしいのは定員の關係である▼父兄の立場になつて見ればこれは由々しい問題で、この關門をパスするか否かは可愛い子弟の將來をどうするかの重大事でなければならない▼ある人は內地の入學難はどうこうと對象にして見るが滿洲と內地では生活程度も違へば一般の環境もよほど異にしてゐる、これを比較することは根本から誤つてゐる▼故國をはなれ、また文化に惠まれない吾等に取つては學校こそが唯一の賴みであり安心して子弟を委し得るのである▼不幸にしてこの唯一の綱を絕たれた父兄の心情をおもふとき、吾等はこの際これら志願者全部を容れるに足る教育機關の擴充を望んで止まない▼大連小嶋子署長の更迭を機に全滿警察官の異動說が傳はる機構問題落着後幹部級異動は當然避けがたい情勢も見られる▼この際幾分沈滯氣味ある警察界に大きな活劑を提供することが出來れば蓋し最も意義あるものだ

社說

スチムソン主義の崩壞と滿洲國再認識への動向

日本のワシントン條約廢棄通告は新國家三千萬民衆と支那四億大衆に帝國の世界の現勢下における實勢力を認識せしめたことに最大の意義を有するものである、日本は單獨に完全な自由意志に基いてワシントン條約の廢棄通告を敢行した、列國はそして支那の支配階級は恐らく孤立した日本が米大陸を中心とした一聯の國家によつて痛めつけられるであらうことを豫期した、殊に歐米派と目される支那支配階級は充分なる期待をもつて廢棄通告後の事態を注視したであらう、然し非常時第一年の情勢は全く彼等の豫想を裏切つて實力をバックとした日本の世界和平への誠實な努力は九ケ國條約を楯にスチムソン、ドクトリンを固執して來た米國の指導的輿論をさへ轉向を餘儀なくせしむるに至つた、このことは轉換期における世界正義が實力を伴つてこそ達成さるべき蓋然性を有することを立證した點に世界的意義を有するものである

◇

支那支配階級はワシントン會議以來の會商主義は(國際聯盟は勿論)現實的な利害關係を基調としてもたらされたものであることを認識せしめたのである、最近の日支關係好轉氣構へは實に支那支配階級が日本の實力と眞意を理解したことによつて招來された結果にほかならない、滿洲國創建以來支那支配階級は聯盟に頼り米國を主流としたスチムソン、ドクトリンによつて不可避的な新國家の建設を阻害せんとした、露骨な反滿抗日運動はそして排日貨運動は空虛な支那政府の自己欺瞞?に過ぎなかつた、反日抗爭によつて支那の得たものは深刻な政治的經濟的轉落以外の何ものでもなかつた、そしてシオドアー、ルーズベルトは明確に「空の袋は自ら充つ事は出來ない」といつた、今日の支那は痛切にそれを體驗したのだ、眠れる獅子は覺醒しやうとしてゐる「光は東洋から」の時代が再現しやうとしてゐる

◇

滿洲國の躍進的建設は世界の輿論が欲すると欲せざるとに拘らず極東の事態の再認識を餘儀なくせしめたのである、世界平和の名において執拗に過去十數年間存續された極東干涉のスチムソン、ドクトリンは足もとから崩壞しつゝある、「英米提携によつて日本の極東における行動を制約せよ」と獅子吼?して廻つてゐるリットン卿の不承認主義は米國の識者間に擯斥されてゐるばかりでなく英本國においてすら砂上の建築であるとの批難が昂い、パンビー報告もフランク、サイモンスの「米國とアジアの自主的平和」も那邊の事情を忠實に物語つてゐる

◇

滿洲國の輝しい建設は三千萬民衆のためばかりではない、九千萬同胞と支那四億の大衆と更に人類が新らしい希望のうちに絶大な期待を投げかけてゐる新生命である、滿洲國は再認識されつゝある、日滿一億二千萬民衆に大きな信念と鐵のやうな決意を望んで止まない

武裝宗教兩移民とも長短は何れもある

來京中の東亞勸業小田島氏談

滿洲への日本人農業移民問題に關して關係當局と接衝のため目下來京中の東亞勸業會社企業課長小田島興三氏は移民問題の現狀と將來について次のやうに語つた

今度の議會で言明されましたやうに、專ら豫算の都合からでせうが、今年度においては暫行的な移民會社を設立することになるやうです、仕事の性質から言へば、現在まで

滿鐵

が東亞勸業にやらせて來たものがこの新設會社へ移されることになる筈のものですがそこには色々な關係があるし、この新設會社がどんな形式機構をもつて現はれるかは私らの知り得ないところです、いづれ五月頃には明らかになりませう、日本人農業移民の現狀を見ますと大体、その行き方に二つの流れがあるのです、一つは武裝移民として行つたもので精勵刻苦、零細な農事の經營に努めてゐます、貴族院で小畑男が述べたのはこれです、もう一つは宗教的色彩をもつて團体を作つたものでこれはハルビンから三里ばかりの所に天理教の人達が始めてゐるのですがわざ〳〵電燈をハルビンから引き、望樓を設けたり、立派な小學校を作つたりしてやつてゐます、殊にその神殿は豪壯なものですこれは同時にクラブを兼ねてゐるものでみんなが朝晩そこに集つて

信仰

の行事をやると共に樂しむわけです。この二つの行き方にはそれぞれ長所もあれば短所もあり從つていろ〳〵批評もあるのです、宗教團体の方では協同作業などが大いにうまく行く代りに、ともすると經營がおろそかになつたりするおそれがありますがこれまで一人も落伍者は出てゐませんが將來注目していゝでせう、兎に角仲々困難な仕事ですが私らの立場としては是非にも好望を見出さねばならぬわけですから大いに努力してゐる次第です

米穀關係三案 結局貴院も通過せん

【東京國通】衆議院で目下審議中の米穀關係三案に對し、貴族院の研究會公正會方面の空氣は米穀商の間に相當反對の聲が高い樣であるが、時節柄統制經濟を基調として經濟策を樹立せねばならぬ樣になつて居るから衆議院と協力して適當な緩和點を見出し、若し政府が衆議院で或る程度修正を行ふならば貴族院は貴族院送附案を通過せしめねばなるまいとの意向が有力なので重要法案として相當議論はあらうが、結局貴族院は衆議院の送附通り通過せしめるものと觀られて居る

英記者の見た ソ聯極東軍備と

極東政策の將來の展望

ロンドンタイムス記者ピーター、フレミング氏が客年十月上旬チフリスを發しトルクジブ鐵道によりノヴオシビルスクに出で同地シベリア線でチタ、ハバロフスクを經同月中旬ウラジホに達した旅行の見聞記は一月二、三、四及び八日のロンドンタイムス紙上に連載されたが、右文中ソ聯の極東軍備の概況並に一般赤軍の狀態は興味深きものがある

△完成を焦る交通網工事 極東に於るソ聯の軍備は第二次的意義を有する部分を除いては完成した、トランス、サイベリアン線は既にオムスクからカルイムスカヤ迄複線となつてゐるが途中二、三の重要な鐵橋例へばイエニセイ河のそれの如きは單線である、之に較べるとアムール、ウスリー線は少し劣りニコリスク浦鹽間を除いては未だ完全な複線となつて居らぬ、ソ當局は一生懸命に複線工事を急いで同線の四部に於て特に其の然るものがある、沿線の人煙稀れな谿谷は材木切出場の樣な騒ぎでクラーク其他の好ましからぬ反革命分子が路上に働いてゐる、彼等はテント又は木造小屋の中に住ひ營業狀態は甚だ不良である彼等に對する監視は嚴重ではない、ソ當局はアムール、ウスリー線の複線工事は一九三五年中に完成すると言つて居るが一見した所彼等の主張は樂觀に過ぎる樣である、トランス、サイベリア線とアムール、ウスリー線とをショート、カットで結着ける爲めバイカル湖の北を迂廻して建設中の戰略的鐵道の進捗狀態に付ては一向情報の據るべきものが無い、尤も同線も一朝事有る場合はアムール、ウスリー線と同樣の危險に晒らされる譯で非常な重要性は無いであらう、旁極東赤軍は出來る限り歐露との唯一の聯絡機關たる鐵道に頼らぬ樣に手配し今日では歐露よりの軍隊輸送も行はれずソ滿國境に沿ふ軍需品の貯藏も十分と認められてゐるノヴオシビルスクから浦鹽迄の七日間の旅行中に軍用品の輸送を目擊したのは若干の輕タンクと潛水艦だけであつた

△食料品配給狀態 ソ側軍備の完了は浦鹽にも表はれ一年前は同市の住民は乏しい配給を不規則に受けたに過ぎなかつたが、今日では狀態改善した之は軍隊が鐵道を獨占しない樣になつた爲である此外同市の道路計畫も進行中で赤軍側では彼等の戰略上の要求は既に充たされたと見て居る 然しアムール及び沿海州の土地は同方面に集中してゐる軍隊の一小部分しか養ひ得ないと云ふ事を强調せねばならぬ、アムール流域と言ひウスリー流域と言ひ何れも豐饒ではなく此方面に在る集團農場の狀態も恐しく不良で長い多の間僅かに共産黨員のキ事を始め二三の職員が饑を凌ぐに足る樣な次第で旁らチタ以東に駐在する兵士は罐詰か殆んど銃と同樣の必要品となつてゐる

△極東赤軍の兵力 一九三四年の夏ソ政府側より得た情報に依れば極東赤軍の兵力は十五萬で一萬人から成る步兵師團十三箇が其の主要部分である、タンクの數は三百乃至四百で主に輕タンクで飛行機は三百乃至四百臺である此外に砲兵部隊があり極東軍の主力はチタ、ダウリヤ方面に置かれて居る尤も前記タンク及び飛行機の數は既に舊聞に屬するであらう

△極東に於るソ聯の海軍力 沿海州に於る主なる飛行陣地はハバロフスクボチカレウオスパスク及ニコリスク附近の一村に在る、浦鹽は堅固な要塞を持て居るが潛水艦の有力なる根據地を除いては極東に在るソ聯の海軍力は言ふに足らぬ、現極東軍司令官ブリュツヘルは一九二六年南支に在つてボローデインを補佐したガロンと言つた方が英國方面には通りが良いであらうか、彼は其の司令部を哈府に置いて居る、此事は一朝有事の場合沿海州の防禦必ずしも困難ならずと彼が考へて居る證左であらう、一證なら沿海州に屯する極東軍の左翼は甚しく孤立して居る形である

△當局の國防思想宣傳振り ソ側は戰爭を欲しない然し戰爭を避け難いと見て居る事は或は本當であらう、少くともソ聯の指導者が國民に向つて戰爭は避けられぬと告げてゐることは事實で極東方面のソ聯人は內々確信を懷いて戰爭の來るのを待つて居る而も平和を維持する唯一の道は戰爭の準備を爲すにあると言ふ政府の議論を子供の樣に信じてゐる彼等はソ聯は決して侵略を爲さぬから戰爭が起れば防禦戰であると言ふけれども防禦の最良方法は攻擊であつて大型爆擊機が四臺又は六臺一隊を成して哈府、浦鹽間の國境に沿ひ時々待機の姿勢をとつてゐる等は明かに日本の都市を脅威するものである、田舍ではポスターを以て防空方法やタンク阻止のトラップ開鑿方法許りでなく防禦線に在る日本步兵の正確な隊型をさへ百姓共に敎へてゐる

△極東政策に關するソ政府の輿論指導振りと將來の動向 ソ聯では輿論はパンの樣に一般に配給されるのであつて常に統制されてゐる、極東時局に關する輿論の如きも固より多分に洩れないものであるが比較的に言へば穩健且冷靜であつて戰爭の場合は其の正義の戰である事は勿論、其の勝利に終る事を疑はないであらう事實ソ聯官憲は沈靜な自信を保てる雰圍氣、國家の利益が平時に在ては國民の冷靜を缺くが爲に將又戰時に在ては臆病に墮するが爲に危殆に瀕せしめらるゝ如きことのない雰圍氣を造るのに非凡な力量を示して居る、過莫ソ聯は力に餘る戰爭而も勝つても負けたと略同樣の好ましくない結果を伴ふ虞れある戰爭は之を欲しない、此の考へがソ聯の相違ない事は明かであるが然し極東政策を差向支配し行くにソ聯が豫備を入れて百萬近くの軍隊を支へて居る一事が同國の財政及內政に如何なる影響を及すであらうかは、それ程明瞭でない今日のソ聯に於ては政府宣傳の下に軍國主義的精神が全土に漲つてゐるが政府は避けらるる限り戰爭を避けるであらうが、然し對外的には極東方面に造つた力と雰圍氣とは之を制御する事が困難となる日が來ないとも限らないし、又對內的にはソ聯の神秘的な財政が噂の通り不良を暴露するとか或はクレムリンの內部に分裂を來す樣な場合は赤軍の實力と人氣とに鑑みて或る形の赤軍獨裁政治が出現する可能性がないとは言へない現ソ政權の弱點は餘りに恐怖政治に頼つて居る點であつて恐怖は一の力をソ政府に生み出したが、此の力は差當り政治的野心を有しない樣に見ゆるけれども常に左樣と許りは行かないかも知れぬ云々

鐵鋼關稅引下げ委員會で可決

三月早々議會へ提出

【東京國通】鐵鋼關稅引下げを中心議題とする關稅調査委員會は廿六日午後藏相官邸に開催、審議の結果鐵鋼關稅以外のものに就ては殆んど異議無く可決したが、鐵鋼關稅に就ては贊否兩論激烈を極めたが結局大多數で別項の如く原案全部を可決した、因つて大藏省では直ちに高橋藏相の決裁を經て直ちに之が關稅改正に要する立法案を三月早々議會に提出することゝなつた

パラグワイの脫退に 聯盟傍觀の外なし

【ワシントン廿五日發國通】パラグワイ政府が聯盟脫退を敢行した結果、聯盟は當然制裁規定を發動すべき立場となつたが假りに聯盟が制裁規定を引用するに決定しても、米國政府としては何等積極的に聯盟を支持しない事に決した更に南米諸國もパラグワイ國に對する經濟封鎖にも參加する樣子なく聯盟は傍觀する外ないものと觀られる

清朝宮廷及政治諸制度考察

吉井幸男 (二一)

○ 武擧 ○

武擧は唐時代に初まり、漢時代に至りて、初て制度化したるものにして、清朝の武擧は明朝の制度を踏襲せるものなり、武擧の目的は、要するに武人中勇猛にして兵法を知るものを試驗に依り擧用せんとするに外ならず

此の武擧は文擧同樣、鄕試會試殿試の三段に分たれ、三年毎に一回擧行せらる、試驗科目は、馬射、步射の技能と、武經の暗記等なり、此の武擧を受けんとするものは、先づ各縣府に於て豫備試驗を行ふ、之れに合格せば武童試に應ずるの資格を附與せらる

二、武童試 本試驗に合格せる者は、武生試に應ずるの資格を附與せらる

三、武生試 本試驗に合格せば武鄕試に應ずるの資格を附與せらる

四、武鄕試以上は文擧と殆ど同じく、武會試武殿試等あり、宗室の子弟は武童試も武生試も受くる必要なく、最初より直ちに武鄕試に應ずる事を得

別項軍務行政の項に於て說明するも軍界重要部分は旗人を以て占め、殊に此の旗人の子弟は此武擧を受くる必要なし即ち清朝は其の建國の歷史に鑑み、武職を世襲とし、又別に旗學或は軍事專門學校として「驍銳營官學」「火器營官學」等の學校を設け軍事學を講じ卒業子弟には世襲の外、總て夫々武官の職を與へる等優遇しあれば此の武擧を受くる必要なく、重要武官に昇進する事を得

兎に角此の武擧なるものは、漢人の武官として身を立てんとする者の爲め設けられたるものにして、實際上此の武擧なるものは、餘り重視せられず、漢人に對する一種の人心收攬策に過ぎざるなり

右各武擧に合格せば如何なる官職を授くるや、各書を調査せるも不明

○ 繙譯科擧 ○

此の繙譯科擧は、清朝の創設に係る、其の獨特の制度にして、滿洲文字の衰退を防ぐと同時に、八旗子弟の進路を開くを其の主眼とするものなり

此の滿洲文字なるものは、清の太祖が滿洲に勃興するの時に當り、部下に傳令するに文字なかりしを以て、蒙文字を用ひたりしも不便多かりしに依り、後ち之に倣ひ、新文字を作れり、之れ滿洲文字にして二十五字を以て成り、文字を母音とし、十九音を子音とし、左方より縱に書し、行の左右に點或は線を附し、言語の構成を區別するを法とす

本科擧に應ずる者は、八旗の子弟のみに限らるは論を待たざる處なるが、注意す可きは旗人は武を以て身を立つを本領とするが故に、本、繙譯科擧を受くるも、又文擧を受くるも、必ず先づ馬步箭を受くるの必要あり、文擧と繙譯、科擧の兩者が異るは、譯科擧は滿洲文字を以て主とし、文擧は漢文字を以て主とするだけなり

譯科擧は、滿文を以て本位とするが故に、如何に漢文に曉通し、文章を能くするとも滿洲文字の譯義に瑕疵ある時は、之を取らざるなり、即ち乾隆五十二年の上諭中「……必遵朕屢次訓旨遵照滿文規則取意繙譯、斷不可拘泥漢文繙譯欽此」と勅に在るが如く、本試驗に於ては漢文字に拘泥せず、換言せば直譯せずして意譯す可きを深く注意しあり

一、豫備試驗(繙譯童試)合格者には繙譯生員の學位を授與す

二、繙譯鄕試合格者にはは繙譯擧人の學位を授與す

三、繙譯會試合格者には繙譯貢士の學位を授與す

四、繙譯殿試合格者には繙譯進士の學位を授與す

一、繙譯童試は文擧同樣、每三年子午卯酉の年、文擧終了せば直ちに擧行せらる

二、繙譯鄕試には、漢文四書論題一道、滿蒙文繙譯各一道を科す

三、繙譯會試は、每三年北京の貢院に於て文擧同樣の規模に於て行はれ、應試者各省駐防七人、蒙人子弟七人宗室子弟九人に夫々達せざる時は試驗を停止す

四報繙譯殿試は乾隆四十四年停止せられ、會試合格者に對しては殿試を行はず、直ちに進士を賜はる

要するに 譯科擧は、形式的には、總て文擧の例を取り外面は文擧と同樣なるも、然し實質的程度は文擧より甚だしく低くし

王道學會公開講義

三月四日市內吉野町紀念公會堂ニ於テ

孟子學 講師 佐藤膽齋

主催 王道學會

後援 新京日日新聞社

一、本會講義ハ引續キ每週日曜午前十時ヨリ公開シ聽講料ヲ徵セズ(初回ノミ三月四日午後六時ヨリ)

二、講室ノ設備上ヨリ已ムナク八十名ヲ定員トスルヲ以テ聽講希望ノ士ハ至急國務院總務廳秘書處內本會幹事渡邊忠之マデ電話又ハ書面ニテ申込レタシ

三、講本及參考講義ハ每回無料配付ス

北滿

解氷期を控えて新航路開設準備
手具脛引く哈市航業聯合會

【ハルビン支局發】ハルビン航業聯合會では例年に比較し[illegible]

[illegible]

非常時に迎ふ陸軍記念日！
哈市各機關の計畫

【ハルビン支局發】來る三月十日の陸軍記念日は滿三十周年に相當するので日本全國を始め、全滿各地とも特に盛大に擧行することになつてゐるが當哈市でも師團司令部、特務機關が中心となつて有意義に實施される、日滿官民もまた自發的にかつ積極的に諸般の行事を計畫遂行し、もつて日滿の歷史特に滿洲に於ける帝國陸軍の偉業を回顧し、非常時突破の決意を强化して眞に國民的記念日である實を收めんとするもので、日滿兩國の依存關係に鑑みて滿人側も大いに慶祝の意を表せんとしてゐる

當日の行事は大体左の如きものである

一、記念演習

若山○部隊は三月十日拂曉から午前八時にかけて哈市を包圍隊型の陣を張つて全部隊の劃期的演習を行ふ、演習終了後、步兵隊、騎兵隊、裝甲自動車は市中目貫の通りを市中行進をなす

二、記念講演

工業大學、醫學校、法政大學、各中等學校等約十ケ年の滿洲國側諸學校、ハルビン學院、ハルビン女學校、小學校、普通學校など日本人諸學校などに師團、特務機關から將校を派して、日露戰爭に因んだ記念講演會を催す

三、記念式典

午前九時から十一時まで、道裡商務會に日滿官民有力者を招待して、記念の式典をあげ且つ記念講演をも併せ行ふ

四、偕行社の招宴

日露役參戰者を偕行社に聘し午餐會を催す

五、飛行機上から宣傳ビラ撒布

午後二時から約三十分間、空中飛行をなして五彩のビラを撒布する

六、映畫招待會

軍事映畫を映寫して十日夜日滿民衆に無料で觀覽せしめる(會場未定)

七、ラジオ放送

記念日をトして、ハルビン放送局では慶祝のプロを放送する外、日本からの中繼放送をもなす

八、燈火管制

非常時意識を市民の腦裡に印刻する意味で、哈市としては最初の試である中央管制のもとに、三分間の燈火管制をなす

九、日滿市民の慶祝行列

午後二時から四時まで、日滿市民團体は特務機關前に先づ集合して、師團前に至り萬歲三唱の後、市中に練り出すことになつてゐるが、當日の盛況たるを失はないであらう

以上がプログラムの大体であるが、當日若山○團長は午前九時から志士の碑、忠靈塔、伊藤公胸像に順次參拜、敬虔なる祈をさゝげると、各市民は日滿兩國旗を各戶に揭揚することを要請されてゐる、三十年記念日だけに當日は、空に地上に湧き返へるやうな慶祝調を描出するものと豫想される

白衣同胞の春(四)
總督府の計畫進む

第二次集團部落

昭和八年に於て本府補助金を以て間島各地に建設した第一次集團部落は前述の如く鮮農の

生活

安定並に地方治安維持上異常に效果的であり其の成績顯著なるものあるも

奥地

に於て皇軍の力及ばず且官憲の手延びざる地方に在りては尙共匪の出沒常ならず匪害頻出する狀態であり、從つて此の地方に於ける農民は不斷に匪賊の脅威の下に在る爲め難を避けて都會地を始め各安全地帶に蝟集する狀態を招來しその數凡そ昭和九年一月に於て約三千戶一萬五千餘人を算して居たのである、而して其の內約四割は避難地に落着き兎も角も生計を立てたるも殘餘の六割は極度に窮乏し時に食ひ時に食はざる狀態の裡に辛ふじて越冬したのであるが偶々間島地方の鐵道工事も終りに近付くに伴ひ之に從事して生活を支へ來つた多數避難民の漸次失業の已むなきに至るあり事態は全く拱手傍觀を許さざる狀態となつた爲に本府は軍部及間島領事館側と

協議

の結果之等關係當局の協力を得て再び集團部落建設の議を起し和龍縣臥龍湖(二個部落)龍湖洞、牛心山、延吉縣金佛寺、倒木溝、上明月溝、石門內、石頭河子、太陽溝、雪帶山、汪淸縣轉角樓、五站、小百草溝、牡丹川等に合計十五個所を選定し之に第一次集團部落を建設し以て之に避難民を收容することを決した玆に於て本府補助金六萬八千圓、關東軍出捐五萬圓、間琿朝鮮人民會金融部借入金一萬五千圓、計十三萬三千圓を其の建設資金とし間島總領事の指導監督並に軍部、滿洲國官憲援助の下に各地朝鮮人民會が夫々經營の主體となり民會職員は各々其實施の任に當り押寄する匪賊を掃ひ建設工作に從事したのである

第二次集團部落の規模、部落民の選定入村、土地の借入、自衛團の組織建設工作の順序等は大體に於て第一次集團部落と同樣であるが、從來の實績に鑑み實施計畫を周密にし萬遺算なきを期したのであるが第二次集團部落建設の報が

一般

に知れ渡るや兇暴なる共匪は集團部落增設が間島に於ける安全圈の擴大を意味し隨つて彼等の活動範圍が極度に縮小せられ蠢動の餘地なからむしるに至るべきを恐れ必死の勢を以て集團部落建設作業に對し妨害を試ることゝなつたのである

汪淸縣小百草溝、延吉縣金佛寺、和龍湖等の如きは武裝共匪に依つて數十回に亘り猛烈なる急襲を加へられ其他の部落に在つても日夜の別なく襲擊せられたのであるが軍部の應援、滿洲國側の警備等を背景とし領事館警察官指揮の下に各自衛團員は常に悲壯なる覺悟を以て勇敢に應戰し悉く之を擊退しつゝ建設工作を進め集團部落側の被害を少からしめ賊に對しては其の都度尠なからざる損害を與へ以て之を敗退せしめたのである

斯くて匪賊暴戾の脅威の前に立ちて時に烈風砂塵の中にあえぎ、時に猛雨をも物ともせず材料の不足、食糧の缺乏、日夜の勞役に因る疲勞等凡有艱難、凡有困苦缺乏を克服しつゝ民會職員激勵の下に各部落民は涙ぐましき奮闘を續け上下協力一致孜々として只管工作に邁進し以て五月中に部落建設の大半を成すに至つたのである

玆に於て工事續行の傍ら大豆、粟、馬鈴薯、稻等の播種に從事し今や部落建設工事を了し之を核心として蝟集する農民夥しく一大農村の形態を備ふるに至つた

全露ファシスト黨
哈市で大會開催

【ハルビン國通】世界各地に二萬の黨員を擁し果敢な反ソ運動を續けてゐる全露ファシスト黨は本年六月二十八日ハルビンに全世界大會を招集する事となつた、參加代表は日本、歐洲、南米、支那の各國より在留黨員代表として目下七名が決定してゐる、今次大會に於ける議案の主なるものは

一、黨の內部組織の擴充と强化

一、前中央執行委員會長ワンシャスキー氏の正式罷免とその後任選定

等で第一回大會は一九三一年第二回は昨年四月初め開催し今次は第三回目である、同黨本部は當地のロシヤクラブに置かれ、ソ聯國內の反ソ分子と連絡し相當活動してゐたが滿洲國建國後は一層活潑な運動を展開し白系各團體の大同團結に成功すると共に日本及び滿洲國に接近を圖つてゐる

北滿大豆出廻り

【ハルビン國通】三月中旬末までの北鐵濱北、拉濱各線の大豆輸送量は左の如く總計約六十萬三千噸で既に豫想輸送量の約八割を輸送し終つたものと見られる(單位千噸)

線	輸送量
北鐵北部線	二一九
東部線	五二
濱北線	一九九
拉濱線	一三三
計	六〇三

北滿の大治水計畫

【チチハル國通】北滿治水計畫樹立の目的を以て去る廿二日以來チチハルを中心に飛行機にて鈴木チチハル建設處長を帶同各河川視察を終へた直木國道局長は宿舍日の丸旅館にて左の如く語つた

北滿一帶に再三起る水害は農民の疲弊と土地開拓上有害なる事は言ふを俟たない將來の北滿產業開發を期待されてゐる今日是非共治水を完成せねばならぬ故に自分としても前々より此事に就き大いに關心を持ち研究もした、今回の來哈は其下檢分として北滿の治水を實施するための視察である廿二日以來每日六時間づゝ五日間上空より嫩江を始め各河川を視察したが第一に急務とするところは松花江、嫩江を治める事にあり、完全に此河水を治め得たならば自ら他の河川は之に隨ふと言ふ大体の見當はついた、何しろ地勢が正確でないため漠然たるものだ、早速測量隊を入れ解氷期までには完成せしめその成績により計畫を樹て現實化す積りだ工事として難しいとは思はぬ、唯豫算の問題だ實現の曉は大いに北滿產業開發に資するところ大なるものがあると期なして居る

瀬尾上尉の慰靈祭舉行

【ハイラル國通】去る一月二十四日ハルハ廟に於て折柄國境侵犯中の外蒙兵と衝突、壯烈なる名譽の殉職を遂げた滿洲國軍上尉瀬尾俊夫氏(二六)等の英靈を弔ふべく當地北警備司令部では二十七日午後二時北鐵クラブに於て副參謀長を委員長として盛大な慰靈祭を催す事となつた

日滿親睦を圖る爲
龍江敦睦會組織

【チチハル國通】在齊日滿有志者の親睦を圖り以て日滿不可分關係を强調する目的をもつて今回龍江敦睦會が組織さるることとなり滿洲國建國記念たる三月一日チチハルホテルに於て發會式を擧行する事となつたが同會は蒲○團長、孫省長、張司令官を名譽會員とし會員七千名日滿有力者を網羅して居るが第一回幹事は左の諸氏に決定した

伊藤參謀長、川崎特務機關長、飯島憲兵隊長 內田領事、乾第三軍參謀長、永井總務廳長、盧實業廳長、劉中銀理事

東滿

吉林管下窮乏八縣
縣參事官を招集
平糶會運用を協議

【吉林國通】吉林省公署に於ては廿六日平糶會設置により救濟に決したる永吉、敦化、樺、磐石、舒蘭、双陽、九臺、楡樹等窮乏八縣の參事官を招集、平糶會運用方法に就て種々討究する所あつた

吉林日語講習會
證書授與式
二十三日受講者三百名に

【吉林支局發】言語に依る省城日滿人の融和を圖ると共に東北地方の困憊に對する義金を募集すべく市立一中の本多敎諭・市政籌備處の竹中囑託等を中心として本年一月十五日より開講された吉林速成日語講習會は受講者三百名に達し各方面の賛同を得て相當の成績を擧げつゝあつたが二十三日を以て終了したので同日午後一時より實驗小學校講堂に於て盛大なる修了證書授與式を擧行した

第二軍管區管下
陣歿者慰靈祭

【吉林國通】第二軍管區司令部では二十六日午前十時北山麓に於て建國以來の陣歿將士六百三十名の招魂慰靈祭を執行したが、吉興司令以下在吉部隊將士全部の外日滿官民多數の參列あり盛大且嚴肅裡に同十一時半閉會した

敦化の交通量調査

【敦化支局】敦化縣公署警務局では城內外の交通治安の調査のため縣城出入人員數を廿四日午前零時から同午後零時まで廿四時間に亘つて調査したが城門出入總數四四、二九六名といふ數字を得た之を門別に示せば左の如くである

門	人數
東門	一九、二五〇
小東門	七、二二四
西門	三、九八三
南門	六、一七四
北門	七、六六五

南滿

吉林軍陣亡將士
招魂祭擧行

【吉林支局發】第二軍管區では建國維新以來數次の討伐に所屬各部隊の陣亡將士日滿軍官及び士兵合計六百三十名に上つて居るが來る三月六日北山に於てこれが招魂慰靈祭を擧行する事となり司令部にては目下着々準備中である

鐵血團組織中の巨魁方文逮捕
東邊、三角地帶匪支離滅裂か

【安東國通】東邊道に於ける反滿抗日の巨魁唐聚五、三角地帶に於ける李子榮、劉景文等相次いで關內に脫出逃亡し鄧鐵梅逮捕せられ李春潤戰死して東邊道及び三角地帶に於て反滿抗日分子は何れもその

頭目

を失ひ支離滅裂今や全く單なる强盜目的の匪賊と化し去つてしまつた、そこでこの三角地帶及び東邊道に散在する大小匪賊を糾合しこの兩地の縱貫的大同團結によつて頽勢を挽回しようした不逞の巨魁テン寬縣柏林川生れの春一ことカク方文(四六)が濱縣滿洲國官憲の手で逮捕され安東警察廳法科に於て取調中だつたが此の程其の取調べ一段落を告げた、彼は事變當時奉天省下本溪縣下で雜貨商を經營してゐたが、事變直後抗日運動に轉向以來遼陽、瀋寬陽、本溪、鳳城、安東、桓仁テン、莊河、岫巖、通化、臨江、輯安等の各縣を廻り各匪首と連絡、常に宣傳と工作を擔當し來つたが、前記の如く日滿軍警の爲反滿抗日の巨魁は相次いで喪失したので、康德元年四月岫巖縣に主なる匪首を召集し、三角地帶より東邊道の縱貫地區を總括する東北眞鐵血救國團を組織し自ら總司令に就任第十五旅第二十九團の配置をして東邊道及び三角地帶に於ける綠林の王者として君臨せんとして策謀中逮捕せられたものである

之に

依り三角地帶及び東邊道に於ける匪團は統制を失し、その不逞策謀に一大頓挫を來したと言はれる、安東省公署開廳始めての大捕物である

奉天省實業廳に
縣農會聯合會を設置

【奉天國通】民國十六年農會條令に依つて設立された奉天省農會は滿洲國成立後も依然同條令を踏襲し業務を續けて居るが右農會は完全に有名無實の存在たるに鑑み、奉天省實業廳に於て改革案を作成審議中のところ此程具体案なり明年度豫算補助金六萬圓を計上、近く同會の改造を斷行、積極的助力を爲す事となつた改革案の內容は實業廳管理下に奉天省城內に縣農會聯合會を設置各縣農會を統一指導し各縣農會には農事指導官を配置し農村自治の確立、農村の徹底的改造に乘出さんとするものでその活動は期待されて居る

警察制度刷新
奉天省優良警官を日本へ

【奉天國通】滿洲國警察制度は既に數度の改革を加へ非常な進步を示すに至つたが、更に根本的にこれを改革するにはどうしても日本警察制度を模倣する必要ありとなし、奉天省警察廳では三月下旬或は四月上旬頃管下各地より優良な警官を選拔し日本に留學せしめ以て滿洲國警察制度の刷新を圖るべく計畫を進めて居る、尙錦州省公署では現在尙警察廳の成立を見て居ないのでこれが成立は目下の急務だとして居る

東北鐵血正義團員
三組に分れ潛入

【奉天國通】當地某機關に達した情報に依れば、北平各大學に在學中の東北出身學生は冬期休暇を利用し東北鐵血正義團なる秘密結社を結成し、淸華大學生、張國官を團長として去月二十四日より三十日迄の間に三組に分れて夫々密かに滿洲國內に潛入した模樣であるが、其目的は奉山鐵路一切の通車通郵機關設備の破壞及び反日滿宣傳工作を爲すにあり、其組織及び章程は左の如くである

一、組織 團長張國官(本部は淸華大學第二寄宿舍內に置く)組長馮永壁(一行七十五名)目的地は吉林、新京、ハルビン、チチハル方面

組長、張光浩(一行四十二名)目的地は奮四洮、瀋海沿線

組長、孫哲(一行三十名)目的地奉山、滿鐵沿線

二、章程

△本團は多季休暇を利用し東北各地において救國宣傳工作をなし東北三千萬民衆の覺醒を促すを目的とす

△本團の工作目標左の如し

イ、撫順炭工人

ロ、鞍山昭和製鋼所工人

ハ、四洮鐵路工人

ニ、新京電氣事業工人

ホ、滿鐵滿人從業員

三、本團は必要に應じ通車通郵に關係ある日支滿の各變形的機關を隨時破壞す

四、本團は鐵血正義を旨とし愛國的範圍に限り軌外の行動を許さず

五、本團の工作は多季休暇滿期の前日を以て停止し二週間以內に工作成績を在北平の同志に報告するものとす

右內容を見るに極めて組織立つてはゐるが一味の策動も嚴然たる滿洲國の警備の前には手も足も出ず結局龍頭蛇尾のものに過ぎざることは當然であるが、萬一を慮り當局では嚴重警戒中である

忠靈塔合祀者名

▲八、六、三同三道溝步曹平松敬直(愛知)▲八、六、三步上吉越治作(新潟)▲七、九、八吉林省依蘭馬步上古谷幸平(茨城)▲七、一〇、七小山左右次(新潟)▲七、一〇、二八汪淸縣百草溝軍屬安藤幸(宮崎)▲八、一、三步大尉山下字一(廣島)▲八、三、三同四方臺步曹川井重夫(茨城)▲八、四、三同大荒溝步上植田德次郎▲齋藤八十八(群馬)▲八、六、一八渾春縣德春鄕懷仁社萩原傳一(茨城)▲宮川保(長野)▲新京の部▲九、一、三吳海軍病院三等兵曹坂川勇(廣嶋)▲哈爾濱の部▲七、五、一九呼蘭河河口特務少尉細川芳太郎(香川)▲七、一〇、一二松花江下流高家屯囑託中川幸男(長野)▲七、一〇、一二同渡邊榮次(山形)▲七、一〇、二七吳海軍病院三等兵曹笹村英武(川口)▲八、七、三〇爾賓衛戍病院二等兵曹池田濱雄(京都)▲九、七、八穆稜河河口一等水兵高濱幸吉(兵庫)▲新京の部▲七、一、二吉林省間島醫院巡査部長淺羽順一(靜岡)▲七、四、二吉林省盤石有本其一(廣嶋)▲七、五、一四吉林省老頭溝野口甲子二郎(群馬)▲七、五、二吉林省大拉子千田嘉吉(岩手)▲七、八、二吉林省梨樹原村崔賜忠(咸鏡北道)▲七、一〇、一〇吉林東洋醫院崔慶福(京畿道)▲七、一〇、二一吉林省龍村坪古屋靜(山梨)▲七、一二、一四吉林省三道溝小鹽博哉(東京)▲七、一二、一九吉林省屯田營朱東熙(咸鏡北道)▲八、二、二吉林省官地村田實(鳥取)▲八、二、三警部補萬山岩藏(宮崎)▲八、四、一八吉林省二道河驛巡查部長高橋末登(長崎)▲八、八、二吉林省長在村森永嘉六(佐賀)▲九、二、一間島醫院警部廣岡龜松(熊本)▲九、二、元吉林省志仁鄕藏財村巡査部長大塚武(群馬)▲七、六、二吉林省守信鄕梨原村巡査部長今井要(熊本)▲加藤一馬(岐阜)▲七、四、二琿春縣馬項子許吉龍(咸鏡北道)▲七、九、五局子街陸軍療養所旅田義雄(山梨)▲九、八、二吉林省局子街河本幸太郎(島根)

家庭

小兒結核に就て(一)

醫學博士　吉田秀雄

結核と言へば大人の病氣であつて「小兒に結核なんてあるものか」と言ふ人が少くありません、然し小兒にも結核はあります、乳兒には稀ですが二歳三歳位から結核に罹るものがあつて年齢の進むだけ多くなつてゐます、腺結核、肺門淋巴腺結核、結核性腦膜炎粟粒結核、結核性腹膜炎等みな結核菌が小兒を侵して起すもので小兒の腺病質と言ふのもやはり結核の一種です、試みにヘルレルといふ人の記錄を調べて見ませう

年齢	死亡者の總數	結核死の數
一歳以内	一四三〇	六四(四、五%)
一歳―五歳	七六一	二三〇(三〇、%)
五歳―十歳	二二八	七六(三三、%)
十歳―十歳	一〇三	五六(五四、%)

△滿洲の結核

滿洲殊に新京には小兒の結核が極めて多いのであります、その理由として考へられます事は父兄の方々の誤つた衞生思想を抱いてゐられる結果であります、即ち寒氣に對する態度が根本から間違つてゐます、大抵の人は寒さを防ぐことのみを考へて之に馴らすといふ方法をとりません、滿洲の樣な嚴寒の地では力めて小兒を外出せしめ寒さに對する抵抗力を養ふ事が最も涵養であります、只着物を何枚も重ね室外に出さずして一隅に閉ぢこめて置く事は小兒の身體を益々弱らせる許りであります、殊に新京の如く住宅難の地では狹隘な室に多人數生活し不完全な換氣といふよりむしろ換氣をしないために汚れきつた空氣を吸ひたま〳〵外出すれば直ちに感冒に罹り之より結核を引起すのであります

△結核初期の病狀

結核の初期に於ては特別取立て、症狀といふ程の故障は現はれません、只小兒が、元氣をなくして顔色が蒼白くなる事には氣が付きます、そして午前中は無熱平熱ですが午後になると三十七度二三分の輕い熱が出ます、顔色の蒼いのに比べて頬のところだけが紅をさした樣な色をしてゐるのが、此の病氣の特徴といへば言へます、盜汗は出る事が多いのであります、斯ういふ緩慢な狀態が進むと漸次結核菌が一定の所に結核性の變化を起します

△腺結核

小兒には此の腺結核が最も多いのですが之は所々の淋巴腺が侵されるので場所は頸部淋巴腺、氣管支淋巴腺、腸間膜淋巴腺などです、此の腺結核に罹つた小兒は食慾はそんなに衰へないのに發育殊に體重增加が停止されるものです、そして患兒は元氣なく不機嫌となり、哺乳兒は固有の快活な顔貌が消失して不安不眠の狀態に陷ります、又年長兒には之迄喜んでゐた遊戲を好まずして、寧ろ陰鬱に傾きます、皮膚や粘膜は蒼白色に變り、頸部鎖骨上　若くは腋　等の淋巴腺が腫脹するのであります此の中でも特に多いのは頸部淋巴腺腫脹で小兒の頸淋巴腺が米粒大又は蠶豆大に腫れそれが一つ〳〵連つて腫起してゐます、この頸のグリ〳〵は頸の上部から下部へ續きます、之がだん〳〵大きくなつて來ると軟化して遂には化膿し皮膚を破つて流れ出たりします、この膿には結核菌が多數含まれてゐて之に觸れる時は傳染するのは言ふまでもありません、腺結核にはX光線が非常に良く効きますから早く發見すれば結核とは言へ割合早く治ります

お料理次第では乾物も美味しい

干鱈を材料とした二品

干鱈ちり鍋

干鱈を適宜の大きさに切つて一升のぬるま湯に對して、一つかみの灰をかきまぜて沈澱させたうわ澄み、即ち灰汁水に一夜漬けて洗ひあげ、更に清水に漬けて五、六時間を經たらば取出してダシ昆布をサツト水洗ひしたものを一枚小鍋の底に敷き、鱈と燒豆腐を入れ、かぶる位に煮出汁を加へ一つまみの鹽を加へ、焜爐にかけて煮ながらポン酢をつけて食べる(ポン酢は醤油四に對し、柚子か橙を搾つた汁六を混ぜ、味の素微量を加へると旨く出來る)

干鱈サラド

前の方法と同じにして干鱈を軟げ・小骨をとり肉だけを細かく裂いてから、これを酢六、砂糖三、鹽一、味の素少し、食紅を淡く溶きまぜた汁に漬けて十五、六分置き汁氣をきる、別に馬鈴薯の皮をむいて賽の目に切つたものとアラレに刻んだ人參とを十分位海水位の鹽水に漬けてから茹揚げて、汁氣をきり、鱈の肉と、田芹の青茹でをミジン切りしたものが、干豌豆を壚茹でしたものと共に、マヨネーズソースで和へ合せ、なるべく大きな蜜柑の皮をカップの樣に捺り抜いた中に、こんもりと山形にもり、胃菜かサラダを二、三枚敷いた皿に盛る

乙女ごころ　三人姉妹＝P・C・L作品＝川端康成の原作を成瀬巳喜男が御色監督し、所謂淺草の風貌と感傷を門附女お染(堤眞佐子)の純情を透して鋭く描いた佳品である、細川ちか子、林千歳、大川平八郎等が助演する、キャメラは鈴木博(寫眞はその一場面)

商品メモ

内地向の絹紬は經糸緯糸共に柞蠶糸を用ひて平織にしたものがある、輸出向としては經糸は三十六デニール、柞蠶土本引撚(一メートル五百回の撚糊)へて管に巻く、而して原料の多くは、滿洲國の安東縣の土物を使用するが、小枠物としては日本娘、金魚印、二人娘、梅印、二仙人、重仙人、孔雀類が用ひられてゐる

◇――◇

懐爐は保溫を要する局部的の疼痛や又は冷症の人が冷えを防ぐ爲とかに用ひる便利な器具で、普通は讀んで字の通り懐中型である最も役に立つのは、腹痛、胃傷カタル、急性の腹膜、盲腸炎等であるが、在來のものは火が、兎角消え易く不愉快な思ひをしたものだが、最近は段々改良されて來て寢ても、轉んでも絕對に消えず、又ハクキン懐爐と言ふのがあるが之は灰の代りに揮發油を使用するもので、一晝夜位樂々と保溫の效を奏する

法律相談

姦夫姦婦は結婚出來るか?

問　結婚届に就て承りたい尙姦夫姦婦は正式に結婚出來るものかどうか

答　仲人があつて結納を取代し、黃道吉日をトして盛大に結婚式を擧げ人も羨む境遇にあつても、戸籍吏に婚姻の届出をせぬ限りはまだ完全な婚姻では無い、若し何か問題が起るとロの悪い新聞紙には内縁の妻と書くであらう、だから結婚した者はすぐに所謂籍を入れることを忘れてはならぬ籍を入れるには、婚姻届書を書いて新夫婦仲よく印を捺し、且つ成年以上、即ち滿二十年以上の人が二人、證人となつて署名しなければならぬ規則に成つて居る、だが姦夫姦婦所謂姦通を原因に離婚されたり、又は姦通の刑の宣告を受けた者は如何に死ぬほど惚れてゐても、正式な婚姻をする事は出來ない、重ねて置いて四つは愚か十にも二十にもしたい姦夫姦婦が天下晴れて仲睦じく夫婦に成つて居るのを見ては、如何に好人物の元の亭主も、チットは腹も立たうとあつてこれを禁じたのである、又犬や鷄ぢやアあるまいし、親子や孫等の間に婚姻の出來ないことは態々火を見んでも明かである、自分と其の伯叔父母の間や、繼母と繼子の間や養子と養父母の間やに於ても矢張り婚姻は出來ない、人倫を紊し血統を攪亂するからである自分と從兄弟の間には法律上では結婚は差支なく出來るのである

今日の献立

朝　味噌汁　大根と里芋の實にします、△大根葉の煎り煮―大根の葉を葉共に刻んで、胡麻油でいため、醤油と砂糖少しで味つけしたもので、廢物利用の料理です

晝　ぜんまいの煮びたし　熱湯に入れて一茹でして、湯の冷めるまでそのままおき、一晩水に晒してもう一度茹でこぼし、醤油と砂糖だけで煮ます、ぜんまいは、水を入れると美味しく煮えません

晩　蟹肉燒賣―メリケン粉二合に、鹽小匙一杯を加へてよく篩ひ、玉子二つを割り込み、よく捏ぜて、麵棒で極く薄い皮に伸し、これを一寸角くらゐづつに切つておきます、一方蟹(罐詰)をほぐして、ざつと茹でた白菜のみぢん切りと、根生姜少々、水溶きした片栗粉少しを合せて、よく混ぜ込んで前の皮で包み、蒸し上げます、芥子醤油で頂きます

佛國人間に改名者增す

人間の姓名などは何でも構はぬと言へばそれ迄であるが、佛國では此の頃改名する者が多くなつた、之は昔佛國ルイ十一世が從者の改名をして、俄に國勢の增大を來した文献に刺戟されたものであると

朗らか小父さん

寒さの今！殊に御連用甲斐ある

銀粒仁丹

仁丹主劑に貴薬朝鮮人蔘と
ヴィタミンBを配合したる

萬人常備の救急護身薬

消化薬 口香料 仁丹 ポケット必携

この問題はむつかしいぞ先づ仁丹だ！

空つ風の街路も仁丹で静々さ！

ティータイムほつとしてのむ仁丹のうまさ！

いゝでしよ、子に仁丹をのます…母心！

羨しい健康何の屈託もない仁丹黨の安眠！

一家そろつて元氣なのも仁丹のお蔭！

JINTAN

連用効果

仁丹を連用すると、胃腸の組織に作用して、その活動を促進せしめ消化吸收を旺んにし、弛緩を引締め、炎症を消癒するを以て
消化不良・食傷中毒・腸胃カタル・衰弱・貧血等は
ひとりでに快癒する。わけて胃弱の常持薬としては仁丹が第一！

健康増進

上述の胃腸の調整と、加ふるに仁丹獨特の爽快な香味は精神作用の和暢を招き、兩々相俟つて
食欲榮養は昂り・體量は増し・活動力は溢れ・寒さ知らずに
万事晴れ晴れとして、健康は目に見えて進む

斯うして、仁丹で築いた健康は、風邪も引かず元氣で、何をしても生活全體が明るく楽しい

殊に今

- ●寒氣を衝いて外出の時
- ●酒席に列する時
- ●氣分がイラ〳〵する時
- ●夜更かしする時
- ●書き物、考へ事の時
- ●食事の後
- ●人混みの觀劇・車中の時
- ●餅や菓子を食べた時

仁丹が是非必要

銀粒仁丹薬價

富士容器附三二〇粒	二十錢
滿洲容器附四〇〇粒	三十錢
御徳用分一〇〇〇粒	五十錢
日滿ケース七〇〇粒	五十錢
徳用瓶入二二〇〇粒	壹圓

仁丹歯磨と仁丹石鹸の本舗・森下博営業所

學藝欄

赤化思想と家庭

健全なる家庭內で親子の理解を深めよ

靑年男女が赤化するについて家庭は如何なる役割を演じて居るかと云ふと第一には家庭が

赤化思想の養成所となる場合がある、これは極く稀な場合であるが、家庭そのものが共產主義の空氣に充たされてゐるために、その家庭內に育つ子女が不知不識の裡に赤化するのである、第二には家庭が赤化思想の溫床となり、助成所となることがある、家庭の空氣が常に世間に對する不平で漲つてゐるために話題は常に世間の惡口が多く、家庭の氣分が何事にも世間の進み方に反逆的の態度をとる、左樣な氣分は靑年の心に迎合され易い、隨つて不知不識の裡に赤化思想の下地をつくることになる、時に家庭が貧困で、周圍から絶えず壓迫を受けてゐるとか、家庭事情が複雜で家庭生活が朗らかでなく、憂欝不愉快であるとか、親子兄弟の仲がよくないので常に紛爭が絶えぬと云ふやうな不幸な境遇に成育する子女は、いつの間にか反抗的氣分になり、赤化思想に移り易い性質になるのである、かかる家庭は皆赤化思想の溫床の役を務めてゐる、極端な家庭になると、子女の赤化するのを親が同情し遂に之に加擔するやうな場合もある、第三には思ひもよらぬ家庭から赤化思想の靑年男女を見ることがある、親は有名なる勤王家であるとか、華族の家庭とか、資本家の家庭とか、神官、警察官、宮內官の家庭とかさう云ふやうな家庭から赤化思想で

檢擧されるることがある、こうした靑年男女を出した家庭を見ると、多くは親と本人との間が離れ〴〵になつて居る、親が我が子の交友、讀物、行動、思想等に無關心であり、放任であり、油斷をしてゐることが多いのである、一度檢擧されるやうになると轉向がむづかしい、その豫防對策の第一は家庭の空氣を淸く朗らかに健全にすることである、子供の時代から健全なる思想の空氣の中で成育させるのである第二は時代思想の推移に注意することである、二十年前に危險なりと考へられたことでも今日では普通のやうになつてゐることもある、穩健なるや過激なるやの判斷は時代によつて異なるものであることを知らねばならぬ、第三には現代靑年の心理を理解することである、新しい時代に生活し、新しい考へを抱懷する靑年子女の思想行動に對して、舊思想で判斷して舊思想で取扱ふときは親と子の心が次第に離れ離れになる、そして靑年子女が獨立出來るやうになると一層親子の間の心が離反して來る、そこに赤化思想が侵入する隙がある、靑年の思想を十分に理解して、その言動に同情を持つことが肝要である

「化學講座」毒ガスの話

在新京 野村薰

先回は將來戰の花形電氣砲に就て述べて見た今日は將來戰の魔物——毒ガスの

正体 及び市民として是非心得て置かなければならない防禦法に關して少し書いて見たいと思ひます……毒ガス—彈いらず戰法、まさしくこれ程簡單なる戰爭方法はない、鐵砲も大砲も無用だ、勿論肉彈勇士も用が無くなるのである、たゞ飛行機がたくさんあればそれで良い、この飛行機全部に毒ガス彈を滿載して大都會を、軍の根據地をひとたまりもなくガス攻めにし生物萬物を一瞬に天國でなくして死國に到らしめると云ふ……思ひ考ふる程將來戰は慘酷に非人道的で且簡單に終結を告ぐるのである 然からばこの恐るべき化學戰の魔物毒ガスの正体とその防禦法は……以下簡單に書いて見るとしよう、毒ガスには約三十種類あるが主なるものはホスゲン、アクロレン、アダムサイト、ピクリン、イペリツト、ヂホスゲン、クロルピクリン、メチル二鹽化砒素、エチル二鹽化砒素青臭化ベンジル等々がある

此等 は皆常溫常壓のガス体で、一定の壓力を加へると液体になるこの液体を砲彈の中に充塡して撒布される、此等のガスの組成原料は大体今日迄のものは石炭酸、ベンゾール、アルコール、鹽素、臭素、青酸、硫黄、砒素等であつてこれを種々の化學工程によつて吾等人類を一瞬にして殺傷する恐るべき毒ガスが造られるのである、毒ガスにはたゞちに窒息せしむるもの、クシヤミを連發せしめ、嘔吐を起すもの血液に作用して即死せしむるもの、涙線を侵して取め度なく泣かしむるもの、或は衣類を通じて皮膚を糜爛せしむると共に內臟を侵すと云ふ恐るべき偉力を持つている

現今では毒性の物凄く强大で撒布すれば直に氣化して人馬を殺傷する、しかも如何なる藥品中和劑をも無効とする無色無臭持久性の即死用ガスが某國に於て發明されたと傳へられてゐる 吾々がこの毒ガスを少しでも呼吸したが最後それでスーラー萬事は完了— 毒ガスを都會に或は後方攪亂に或は敵陣地に放散する

方法 は（一）大砲によるもの（二）手溜彈によるもの（三）飛行機によるもの（四）放射法（五）毒煙法等で（一）はガス彈を大砲によつて發射し敵の陣地に送つて破壞せしむるもので普通迫擊砲又は毒ガス專用の投射機による（二）の飛行機による毒ガス彈の投下は歐洲戰亂では二、三回行はれた樣であるが將來戰ではこれ萬能で人類慘禍の第一頁を造り出すであろう（三）これは白兵戰に行はれるものであるがガス量の少いのが缺點とされてゐる 第四の放射法は毒ガスのボンブを敵前にうずめて置き風の方向を利用しその口を開いて自然に噴出せしむる方法である、第五は催涙又はクシヤミガスを或る種の發熱劑を用ひて燻蒸し、發散せしめ第四の場合と同じ順風を利用して敵陣に送り込む方法である次は毒ガスの防禦法に就て申し上げる（この項續く）

コドモの世界

綴方

白菊小學校 パッチンコ一ネン フクシマヒロシ

ボクハオトウサントオカアサントニイサントボクトナンレイノ方ヘイキマシタオ天キガヨイノデテブクロモボウシモイリマセンデシタ。ヒロイノ中ニキラキラトケムリノヨウナモノガミエマシタアレハカゲロウトニイサンガオシヤイマシタ、カササギモオシエテモライマシタ、カヘリミチデニイサンガ木ノエダヲヒロイマシタ、ソノエダヲモッテカヘッテパッテンコヲツクッテスズメトリニイキマシタイクラオイカケテイッテモトレナイノデヤメマツタ

スケート 大橋左知子

やうやくこの間、お父樣におねがひしてスケートをかつていたゞきました、私はうれしくてたまりませんので、お父樣ととんでかへりました、お父樣は「出來ないくせに」といひます弟はねえちやんはころぶのが上手ねといひますので私はしやくにさはつてたまりません、この間スケートをもつて學校にゆきました、おひるからスケートをしに行きました。はぢめはころんでばかりゐましたけれどだい分ころばなくなりましたのでおもしろくなつてむちゆうになつてすべつてゐました。すべつてゐますともう四時ごろになつたのでやめました、きよう室に行くと足がきゆうにゐたくなつたのでみましたらみずぶくれになつてゐました、かへりは大石さんたちと馬車にのつてかへりましたお母樣が「あんまり一つぺんにするからですよ」とおつしやいました、私はスケートをしたくてたまりませんけれど足がいたいのでがまんをしてをります

スケートカイ 一ネンアラキタベカズ

ケフハ日ヨーデス、ボクハ二ネンセイノカズヲクントスケートヲモッテニシコウエンニイッテミタラスケートカイガハジマッテヰマシタ、ボクトカズヲクントハシッテキッテオヂサンニボクモキレテクダサイトタノミマシタ、オジサンハイレテヤルトイヒマシタボクタチハスケートヲハイテスジフトコロヘユキマシタ、ソウシテオヂサンガピストルヲモツテドントオトガシマストボクタチハスベリマシタボクハ二トウデシタ

題 上床國秀

讀方の時間に時間割を見ると四時間目に綴方がある、僕は困つてしまつた題がない、その時間はうしろばかり見ていた次の二時間は題のことなんかすつかりわすれてゐた。いよ〳〵次の時間がはじまつて先生が「こんどは綴方だね」とおつしやつた時、はつと思つたがおつつかない、仕方がない、考へても考へても中々いゝ題が出てこない、僕のとなりのその次の人が「飛行機といふ題にしやう」といつたが僕は「そんなの赤んぼうみたいだぞ」といつたが、飛行機といふ題より外ない、仕方がないのでそのことについて考へたがと中まで來るとつかへてしまつた、あと十分位で時間がおはりさうだ、むねがどき〳〵する、題がない、おちつかない題を見つけてこないとこんなだからこれから題は見つけてこやうと後悔した、皆は、はいくなどかいてゐるがはいくなんかやつかいだ、僕はこまつたと思つたがしかたがない、かくきになれないのでやめやうかと思つた

官吏消組の壓力下に 商人連悲鳴を揚ぐ
二、三割から九割の賣上減 新發屯商人座談會

新京商店協會主催で二十六日午後七時から公會堂に新發屯方面に店舗を有つ商人の座談會を催し滿洲國官吏消費組合設立による影響を聽取し消費組合撤廢運動の材料とせんとしたが、集るものいづれも同組合開業以來の賣上減が最高九割から尠い方でも三四割減を示し悲觀說多く、店舗を抛つて商賣換へをせねばならぬ時が到來するといひ悲愴な會合であつたと

稲岡茂氏 吉林事務所長に發令

滿鐵經濟調査會各部に新しく主査を設置の結果、吉林事務所長參事野中時雄氏が經濟調査會委員兼第六部主査に、その後任には元新京地方事務所長でさきに洋行中だつた地方部參事稲岡茂氏、なほ稲岡氏不在中同事務所山口四郎氏は代理に、いづれも二十六日附發令された

日鮮滿の融和を地で行く日本人
滿人娘を細君にむかへて 村長で而もお醫者

北滿の一寒村の村長となつて滿人を妻君に持ち日鮮滿融和に奔命してゐる感心な日本青年がある——鹿兒島縣出水郡の垂忠雄君（二七）は

昭和七年九月在鄉軍人を主体とした四百名の星櫻會滿蒙工作隊の一員として來滿、資北線海北鎭驛工事に從事中赤痢にかゝり同地鮮農警牧農場の經理鄭駿秀君に救はれ四十日で恢復したが間もなく移民團は解散してしまつた、垂君の「滿洲の土になる」決心はその時すでに育くまれてゐたのだ、鄭經理の斡旋で水田經營法を覺へた垂君は同農場にあつて耕作のかたわら縣公署、領事館と協力して鮮滿農融和につくし、農務契（朝鮮人農民組合）朝鮮人民會を設立し普通學校二校の創設に奔走した一方、縣公署の依囑で日語學校をつくり滿人に日語を敎へるなど垂君の努力は涙ぐましいものがあつた、また海軍在籍當時看護兵だつた同君は衞生思想の普及をはかり自分は領事館の諒解の下に現地開業の許可を得て目下海北鎭住民滿人九千人と朝鮮人四百人の

親切なお醫者さんとして慕はれてゐる、昨年十月全住民から推されて海北鎭長（村長）となり同地の天主教牧師フランス人牛仁守氏と鄭君の媒介で長春縣小八家子の張　氏の娘秀芳さん（一八）と結婚して民族協和を地で行つてゐる、二十七日愛妻をつれて八家子を訪れた垂君は二十八日午後協和會中央事務局で語る

海北鎭の百姓は民度が低いけれど商人は相當發達してゐます、住民は一般に國家的觀念が乏しいが住民の八割まで天主教信者で非常に親切で溫順です事變當時悪性な日本人がかなり亂棒なことをしたので日本人に對する印象はあまり良い方とはいへませんが最近では大變變つて來ました、私の仕事などはまだ〳〵これからです

京商校長 赤塚氏正式任命さる

新京商業學校敎諭赤塚吉次郎氏は內閣辭令を以て新京商業學校長兼新京商業學校敎諭に任ぜられ高等官七等を以て待遇せらる旨二十六日社報を以て發表された

滿鐵消組總代選擧
十四名が敢えない最後 きのふ開票さる

二十六日行はれた滿鐵社員消費組合十年度總代選擧の投票函は二十七日午後一時から羽衣町分配所事務室で吉田、稲葉兩選擧立會人の立會のもとに開票された結果總投票數一千九百七十票（有權社員二千六十九名）有効票一千九百三票無効票六十七票、棄權者九十九名

當選　二一五票
高山安吉氏（新建設分局）　一七四票
同　神代新市氏（新鐵路局）　一六〇票
同　長尾次郎氏（新機關區）
同　一一六票　瀨川順平氏（新小學校）
同　一一五票　中山恕世氏（舊鐵道事務所）
同　八八票　稲葉賢一氏（舊地方事務所）
同　八八票　桂保雄氏（舊檢車區）
同　八七票　鯉沼兵士郎氏（新地方事務所）
八五票
同　神瀨龍太郎氏（舊保線區）　八二票
同　山口義人氏（新驛）　八二票
同　稲川利一氏（新驛）　八二票
同　佐竹榮氏（新驛）　八二票
同　後藤治甚氏（新驛）　八〇票
同　大石義三郎氏（新列車區）　八〇票
同　羽根友治氏（舊保安區）　六六票
同　吉田得美氏（舊販賣事務所）　六三票
同　入江理氏（新新京醫院）
同　六三票　江部昌開氏（新中學校）
次點　四七票　千葉千代吉氏（ヤマトホテル）

なほ總被推薦者は三十二名でうち十八名の當選である

范家屯驛員 驛長を落こす
とんだことになつたもの

滿鐵社員消費組合總代選擧で斷然選擧に對する范家屯驛員の認識不足ぶりを發揮すると同時にちやんと當選圏內には入つてゐた驛長宇野謙治御大に美事落選の憂き目を見せた話——范家屯驛では總代に驛長を推薦投票したがその中に二十七票は被選擧者欄に「宇野謙治」と橫書のはんこを押して自筆の代りにしてあり選擧者の名前は筆跡からみて同一人が書いたものらしく、開票立會人もこれを有効にすべきか、無効にすべきかを協議の結果これを無効に決し尊き二十七票が駄目になり、同氏の有効票は僅か二十四票に過ぎなかつた、同氏の落選は范家屯方面のみならず各方面から惜まれてゐる

南新京驛の一車扱ひに 土建界期待

南新京驛では既報の通り一日から土建材料の一車取扱ひを開始するが本年は昨年と違つて同驛から各方面へ通ずる道路が殆ど完成してゐるから荷馬車の往來は自由自在になり南嶺附近、順天廣場、安民廣場周圍の街路附近に運搬の都合がよく、この附近に使用される土建材料は同驛で荷卸するのが距離運賃の關係上荷主側に便宜を與へるので荷主側から非常に喜ばれてゐる

久し振りで全市一帶斷水！
一日午前八時から

水不足の非難もすつかり解消して今では斷水騷ぎも久しく絕えたが來る三月一日發電所の切替工事のため止むなく殆ど全市に亘つて斷水する、時間は一日午前八時から十一時まで、區域は市內全体（但し西二條以西一帶、寶來町、祝町より千鳥町、曙町に至る東一條以西を除く）といふことになつてゐる

「全滿商工會議所理事會 昨日公會堂で開催
小賣業合理化委員聯合會案等 ほか五件を附議す

第十五回滿洲商工會議所理事會は二十七日午前十時から新京公會堂で松崎鐵嶺、猿渡遼陽、日下營口、新田安東、長永大連、森山撫順、兒玉奉天の諸氏ならびに小林新京の八名會合、定刻開催左記議案を附議し午後二時散會した

一、小賣業合理化委員會聯合會に關する件
二、第二回鮮滿商議聯合理事會に關する件
三、關東軍依賴の資源調査の件
四、電々會社よりの補助金に關する件
五、滿洲國代金引換小包郵便制度の改善に關する件

因に第一項は速かに各地に合理化委員會を設けその聯合會開催を促進する申合せをした

日本品の長江向激增 市場恢復近し

【上海國通】日支經濟提携の氣運昂まるにつれ日本商人は早くも相次いで上海に乘り込み盛んに活躍し、殊に事變後不況の爲め閉店內地に引揚げてゐた商社は此の機會に販路を復活せんと奔走してゐるが他方以前から安い日本品を買ひたがつてゐた一般支那商人も蔣介石、汪精衛兩氏の聲明以來安心して盛んに日貨を購入し、上海日貨取扱商も既に三百七十軒の多數に達し、各種日本品の輸入も二月以來頓に增加し、特に海產物、金物の輸出が激增するに至つた又上海、鎭江の支那工場も新たに日本人技師を招聘し現在百四十名に達し日支合辨の商店工場數も漸次增加の傾向を示し長江沿岸各地の日貨輸入も漸次增加し事變以來殆んど停航狀態にあつた日淸汽船會社も日貨荷動きの活潑なるに鑑み、愈々三月一日より就航し重慶まで遡航することとなり事變以來一掃された販路の回復も近いと期待されて居る

日本人諸君……成績が惡いぞ！
滿人に比べて質受けが尠い

庶民金融機關として世の景氣不景氣にかゝはらず繁昌をつゞけてゐる質屋は現在新京附屬地內に日本人十九滿人十七合計三十六の店舗があり一ヶ年の營業狀態を見ると貸出口數が十五萬九千三百六十四、金額九十四萬一千六百七十七圓に上り附屬地日滿人六萬と見て一人當り約十五圓七十錢の貸出をしてゐる次に質受の方を見ると口數が十萬二千六百二十三、金額六十五萬五千百十五圓、流質が口數一萬九千六百四十一、金額九萬四千八百三十七圓である、尙日本人と滿人の營業狀態を調べると貸出は日本人の方が一口當りの金額が多く流質について見ると滿人の方が非常に少く殆んど質受されてゐる

愛護村長 觀光團來京

奉天鐵路局主催の同局管內鐵道愛護村村長八十八名一行の觀光團は二十六日午後六時半來京、二十七日は午前九時國務院に鄭總理を訪問、總理の訓辭を受けた後宮廷府內を參觀、午後は國都建設狀況を視察後軍司令部を訪れ奧田中佐の訓辭を受けてから忠靈塔、新京神社を參拜した、なほ一行は二十八日午前七時新京發吉林に向ひ山城鎭種豚場を見學それより大連方面の視察を終へ來る三月四日歸奉の豫定である（寫眞は一行）

新鐵事務所 來年度豫算査定

新京鐵道事務所では來年度事業費豫算査定のため所長（代理）以下各係長各關係主任が來月二日新京をふり出しに向ふ一週間に亘つて査定が行はれる

長岡總長歸る

長岡關東局總長は北滿駐屯部隊、衞戍病院、軍事郵便局などの慰問視察のため去る二十二日岩佐警務部長鈴木警備課長、椎葉秘書官、飼田理事官等を帶同北上したが各地の視察を終へ二十七日午後三時着南部線列車で歸任した、寫眞は驛頭の總長一行

阿片の話（二）
一記者

吸飲方法と中毒患者

一般の吸飲方法は寢台に臥して煙膏の小さい塊りをキセルの先につけて

燃火で燃やしながら吸ひ込むのである

一度吸へばモルヒネのために神經系統に麻醉作用を起し恍惚となり一時的に快味を覺へるが、だん〳〵習慣性となつて、しまひには暫く吸飲しなければ廢人同樣となつて遂に中毒性患者となつてしまふ

一、最輕症者—朝床の中で一服喫はないと起床出來ない程度のもの、次の吸飲時まで約四時間は辛棒出來る
二、輕症者—自分で煙膏を燒く氣力なく人の手で漸く一服吸ひ元氣となるもの
三、中毒患者—自分で喫煙する力さへなく人に吹きかけて貰つて漸く目が覺るもの
四、最重症者—氣息奄々として廢人の如く阿片がなくては身体がもてないもの

滿洲國內の阿片吸飲患者の數は明らかでないが、百人中尠くとも二、三人はあるといはれ全國では六十萬人と推定されてゐる、國民の二%以上が阿片中毒者であるといふことは由々しい問題であつて滿洲國政府が阿片の擊退を目標に阿片專賣制度によつて阿片政策の斷行に盡瘁しつゝある所以である

滿洲國の阿片政策

滿洲國は道義的見地から阿片政策の

確立を期して建國元年阿片專賣制度を實施して台灣、關東州のやうに斷禁主義に基く漸減政策を採用した、その專賣政策は財政專賣でなく社會專賣（公署專賣）であつて財政收入を基調としたものではない、即ち漸減主義によつて新吸飲者の發生を防ぎ從來の吸飲者を漸減し將來はこれを絕滅しやうとしてゐるのである、政府が斷禁政策を行はない理由は阿片の密栽培、密賣買、密吸飲を防止し先年の米國における禁酒法が生んだやうな「金錢的中毒」による腐敗惰落を恐れたからであつて、現在世界で最も完全な阿片制度が施かれてゐるといはれてゐる台灣の漸減制を採用したもので現行專賣制度の大要は次の通りである

阿片收買は間接收買によつて收買人をして栽培者から買上げてゐるが、現在では熱河では大滿公司、北滿では大東號に委任して收買を行はしめてゐる、收買値段は密賣買を考慮して相當高價な相場で買上げてゐるが、余り高價で收買することは健全なる國內農業の發達に惡影響を及ぼす危險性があるので將來はもつと安價で買上げるものとみられる

▼……販賣は全國を十區に分け專賣官署—卸賣人—小賣人—警察の證明書を有する吸飲者といふ

順序で施行してゐる

▼……取締は國內密賣買密吸飲と栽培地區、密栽培にわたつて嚴重に行つてゐる、そのため昭和八年にケシの花が擦亂と咲き亂れた滿洲國も今は特定栽培區域を除いては大黑河、饒河北邊に僅かに栽培されてゐるだけで殆ど跡を絕つてしまつてゐる、これが取締には專賣公署では全國に指私員を派遣して徹底を期してゐる、目下第一期計畫時代にある滿洲國阿片政策も第二第三期と整備充實され、阿片制度十ヶ年計畫の實現と共に完成されるであらう

▼……阿片の密輸狀況 舊軍閥時代のやうな大規模な密輸はなくなつたが、政府の眼を逃れて多少行はれてゐる模樣である

▼……密輸出は熱河から北支に流れるのが主なもので建國以來熱河阿片の供給が絕えたため北支の阿片價格高騰が密輸を誘發したものであつて、現在冷口、喜峰口、古北口等の長城線を通つて平津方面に出されるもの、多倫から張家口方面に流出するものが多少あるらしい、又ソ聯領內の金鑛に集る苦力や滿人部落の需要のため國境を越へて密輸されるものが小量あるといはれてゐる

▼……密輸入は朝鮮阿片が鴨綠江をわたつて安東、臨江

長白地方へ多少流入されてゐる模樣である

▼……密輸機關としては鐵道汽船、自動車、馬車、牛車、家畜、人体などが利用され又小包郵便などで行はれるものもある、最近發見された巧妙な密輸方法を二、三紹介すると次のやうなのがある

▼……錦縣行三等列車內で白布製風呂敷包の中に二十數個の饅頭があるのを發見、固くなつてゐるので取調べると饅頭の中から生阿片が出て來た

▼……中味は生阿片の月餅を作つて上皮一分位を適當に燒いたもので一見本物のやうに見せかけて密輸してゐたが、態々饅頭を買つて喰べてゐたので不審に思はれ發覺したものである

女人婆羅門（八十）

（繪と文）長田秀雄　西正世志畫

妖雲（一）

その夜、日進の聞えは、形容の外だつた。もう、呻る氣勢すらなく、奈落のドン底に落ちたやうに（神も佛も、此世に在るものか）

夜明け頃、名物の雪嵐となつて、びゆうつ、と物凄い雪が風と共に吹き荒れてゐた。

藏妙寺の境内に、二つの黒影が現はれた。

「こゝの住職は、小金を蓄めてると云ふ噂だ」

「見附からん樣に氣をつけな」

「こんな雪嵐だ。みんなぐつすり寢込んで居るだらうよ。起きてゐるのは、こちとらみたいな狐鼠泥ばかりだ」

「減らず口を叩かずに、早いとこやつゝけやうぜ……」

書院の入口に佇んで、窓に打附けた枝竹を、うまく、抜き取つて、」

「さ、早く……」

「靜かに！」

寢間りを仕直して、雪泥に汚れた濡れ草鞋の儘、和尚の病室に這入つて行くと、一人は、うめいてゐる和尚の頭をポンと蹴つた。

「うゝむ、誰だつ」

「おや、大層お苦しみだな……」

「今に引導を渡してやるから、その前に有金殘らず出してしまひな」

――ちやんと、目星をつけてやつて來たんだ

和尚は、兩眼を物凄く開いて、

「と……と……盜賊か！」

「何でもいゝから早く、有金を出せ」

「金は、當寺には一文もない、うゝむ苦しい」

「くたばりかけてる癖に吝つたれた事をいふもんぢやねえ」

「さうださうだ。非常に出してくれたら、このまゝ眠つてやるが、さもなけれあ其儘にやア置かねえぞ」

「幾ら云つても、當寺に、金はない。金は、本堂の釋迦牟尼佛と、鎭守樣の膝ぐらゐのものだ……さ、早く、行つて呉れ、病中ぢや……」

「しぶとい坊主だ」

と、相棒と顏を見合せて、

（殺つゝけてしまはう）

と、目で合圖をした。

それと同時に、相棒の一人が、和尚の後に廻つて、懷中から汗に滲んだ古手拭を取出すと、いきなり和尚の首にくるッと巻きつけて

「えいつ」

と、一思ひに絞めた。

和尚はぐつたりと前にのめると、そのまゝこと切れた。

「金を探してくれ」

「合點だ」

蒲團の下から、財布が出てきた。

――五百圓入つてゐた。

「兄貴、五百圓あるぜ」

「それだけありや大したもんだ。もう引上げやう」

書院の縁へ出てきて、雪の境内へ飛下りると、其儘一目散、何れかへ逃げ去つてしまつた。

夜が明けてから、下男の作藏と小僧が和尚の死體を見つけて、驚いて宿中へ來て、駐在所へ報告した。

早速、三人の巡査が來て、藏妙寺を調べたが、まつたく跡の祭で古疊や廊下や縁べりの上に、雪草鞋の跡がべとべとと殘つてゐるきりだつた。

境内から街道まで、二人連れといふことだけ明瞭分るやうに、四つの足跡が、雪の中に殘つてゐたが、それも二三丁先になると、まつたく掻き消えてしまつてゐて、追跡する手懸りもなかつた。